

令和 2 年度使用

義務教育諸学校（小学校）の教科用図書
（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）
研 究 資 料

令和元年 6 月

岡山県教育委員会

目次

教科	種目		
1 国語	国語	-----	1
2 国語	書写	-----	9
3 社会	社会	-----	15
4 社会	地図	-----	21
5 算数	算数	-----	25
6 理科	理科	-----	33
7 生活	生活	-----	41
8 音楽	音楽	-----	51
9 図画工作	図画工作	-----	57
10 家庭	家庭	-----	63
11 体育	保健	-----	69
12 外国語	英語	-----	77
13 道徳	道徳	-----	85

「令和2年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

1

教科 国語

種目 国語

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	あたらしい こくご 一上	1	B 5	1 4 1
		あたらしい こくご 一下		B 5	1 6 9
		新しい 国語 二上	2	B 5	1 6 7
		新しい 国語 二下		B 5	1 7 5
		新しい 国語 三上	3	B 5	1 7 5
		新しい 国語 三下		B 5	1 7 5
		新しい 国語 四上	4	B 5	1 7 5
		新しい 国語 四下		B 5	1 7 5
		新しい 国語 五	5	B 5	3 0 3
新しい 国語 六	6	B 5	3 0 3		
11	学図	みんなとまなぶ しょうがっこうこくご 一ねん上	1	B 5	1 3 6
		みんなとまなぶ しょうがっこうこくご 一ねん下		B 5	1 2 8
		みんなと学ぶ しょうがっこうこくご 二ねん上	2	B 5	1 4 0
		みんなと学ぶ しょうがっこうこくご 二ねん下		B 5	1 3 6
		みんなと学ぶ 小学校国語 三年上	3	B 5	1 5 8
		みんなと学ぶ 小学校国語 三年下		B 5	1 4 8
		みんなと学ぶ 小学校国語 四年上	4	B 5	1 5 8
		みんなと学ぶ 小学校国語 四年下		B 5	1 5 2
		みんなと学ぶ 小学校国語 五年上	5	B 5	1 7 2
		みんなと学ぶ 小学校国語 五年下		B 5	1 6 4
		みんなと学ぶ 小学校国語 六年上	6	B 5	1 6 4
		みんなと学ぶ 小学校国語 六年下		B 5	1 6 2

17	教出	ひろがることば しょうがくこくご 一上	1	B 5	1 3 6
		ひろがることば しょうがくこくご 一下		B 5	1 7 4
		ひろがることば 小学国語 二上	2	B 5	1 6 0
		ひろがることば 小学国語 二下		B 5	1 6 4
		ひろがる言葉 小学国語 三上	3	B 5	1 6 0
		ひろがる言葉 小学国語 三下		B 5	1 6 0
		ひろがる言葉 小学国語 四上	4	B 5	1 6 0
		ひろがる言葉 小学国語 四下		B 5	1 8 2
		ひろがる言葉 小学国語 五上	5	B 5	1 5 2
		ひろがる言葉 小学国語 五下		B 5	1 8 0
		ひろがる言葉 小学国語 六上	6	B 5	1 6 8
		ひろがる言葉 小学国語 六下		B 5	1 6 8
38	光村	こくご 一ねん上 かざぐるま	1	B 5	1 3 2
		こくご 一ねん下 ともだち		B 5	1 3 6
		こくご 二ねん上 たんぼぼ	2	B 5	1 5 6
		こくご 二ねん下 赤とんぼ		B 5	1 6 4
		国語 三年上 わかば	3	B 5	1 6 0
		国語 三年下 あおぞら		B 5	1 6 0
		国語 四年上 かがやき	4	B 5	1 6 0
		国語 四年下 はばたき		B 5	1 6 4
		国語 五年 銀河	5	B 5	2 9 6
		国語 六年 創造	6	B 5	3 1 0

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新しい国語
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 国語で正確に理解し適切に表現することに向けて基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 様々な学習場面や実生活で生きて働く国語の能力を身に付けさせるために、他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 伝統的な言語文化や言葉の由来や変化等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、国際理解や協調に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 基礎基本の定着に向けて、各単元の「言葉の力」や大切な用語が「おさえる」として示されている。巻頭には、第2学年以上で領域毎に学習する「言葉の力」が示され、巻末には、前学年や上巻で学習した「言葉の力」が、また第3学年以上で学習用語が整理して示されている。</p> <p>② 学習の手引き等で単元の中心的な課題と考えを広げたり深めたりする問いが提示されるとともに、活用できる思考ツールや思考操作の例が紹介されている。第2学年以上において、以後の学習に活用できるよう、学年始めに情報の扱い方や対話に関わる教材が設けられている。</p> <p>③ 第5学年では、英語と比べながら日本語の特徴を示した「日本語と外国語」の内容が取り上げられている。国語ノートの作り方、図書館利用の方法が示されている。探究的な学習になるように、つかむ・進める・振り返るという展開が示されている。以後の学習につなげる「生かそう」が示されている。</p> <p>④ 全学年の「伝えたい言葉」や2年生以上の「季節の足音」で、伝統的な言語文化にかかわる内容や四季折々の自然や風土、行事や慣習にかかわる言葉や詩歌が取り上げられている。第2・3・4学年では、「話す聞く」「読む」領域において、国際理解にかかわる教材が取り上げられている。</p> <p>⑤ 読書意欲を高めるために、お薦めの本や読書活動が紹介されている。補充的な学習となるよう、「漢字の練習」で前学年での漢字が取り上げられている。また、既習内容の確認事項や関連図書が紹介されている。漢字学習や文作りに発展させられるよう、言葉と漢字の説明が示されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 第4学年までは上下巻2分冊、第5学年からは合本で構成されている。教材の初めの右ページには、上部にラベル型の枠内に領域名が、下部に領域を示すイラストが示されている。第1学年上巻巻末のページの新出漢字が、硬筆書体で表示されている。第2学年下巻まで分ち書きで記載されている。</p>

項目	観 点 の 具 体	11 学図 みんなと学ぶ 小学校 国語
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 国語で正確に理解し適切に表現することに向けて基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 様々な学習場面や実生活で生きて働く国語の能力を身に付けさせるために、他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 伝統的な言語文化や言葉の由来や変化等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、国際理解や協調に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 基礎基本の定着に向けて、単元末の「国語のカギ」や巻末の「授業で使う言葉」が示されている。第3学年以上では、巻頭で知識・技能及び領域毎にキーワードで一覧化され、巻末にも「国語のカギ」が整理して示されている。「レッスン」として書くための基本的な技能等が演習形式で示されている。</p> <p>② 第3学年以上において、論理的思考と感性的思考の2面から演習を通して学ぶ情報の扱い方に関わる特設教材が設けられている。「読む」領域では、学習の手引きで思考の形成・深化の観点が示され、第4学年以上の説明的文章で、多面的に考えられるように比べ読み教材が掲載されている。</p> <p>③ 第4学年では、社会科との関連が図られるように、「日本各地の短歌」において都道府県名とセットで短歌が示されている。探究的な学習になるように、つかむ・見方や考え方を学ぶ・まとめる・広げるという展開で単元が構成されている。また、関連し合う教材で大単元が構成されている。</p> <p>④ 低学年では「むかしばなしをたのしもう」、中学年では「言葉のひびきやリズムを楽しもう」、高学年では「言葉の文化を体験しよう」として、伝統的な言語文化にかかわる内容が、2年生以上の「季節のたより」で、四季にかかわる言葉や俳句等が絵や写真とともに取り上げられている。</p> <p>⑤ 意欲喚起のため、身近な出来事や話題が扱われたり、ゲーム、クイズ、四コマまんがなどが取り入れられたりしている。発展的な学習になるよう吹き出しを利用して、活動例や発展的な学習課題が示されている。補充的な学習になるよう「言葉をつないで文を作ろう」で前学年での漢字が扱われている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 全学年で、上下巻の2分冊で構成されており、第2学年上巻前半まで分かち書きで記載されている。第1学年下巻からは、表紙内側の見開き全面に大きな写真が詩とともに掲載されている。各学年ともに、「伝統的な言語文化」にかかわるページには、上部にマークが付されている。</p>

17 教出 ひろがる言葉 小学国語	38 光村 国語
<p>① 基礎基本の定着に向けて、単元末の「ここが大事」が示されている。第1学年下巻から、巻頭に時系列と領域を整理した教材や学習内容の一覧が、第2学年から巻末に学習用語等を整理したページが設けられている。第3・5学年では、漢字学習への取り組み方を提案するノートの例が示されている。</p> <p>② キャラクターを登場させ、学習の鍵となる言葉を語らせている。学習の手引きで、思考を形成・深化する観点が示され、それを基にした対話のモデルが紹介されている。情報の扱い方に関わる語彙や文型が、各領域の学習と関連付けられたり、巻末の「言葉の木・まとめ」で整理されたりしている。</p> <p>③ 第3学年では、実生活との関連が図られるように、身の回りにある絵文字を取り上げた「くらしと絵文字」の文章が掲載されている。探究的な活動になるように、単元を通しての課題や振り返りの項目が示されたり、広げる・交流するという展開が示されたりしている。</p> <p>④ 第1学年下巻から「文化」として、各巻2つずつ伝統的な言語文化にかかわる内容が取り上げられている。第6学年では、明治・大正時代までの幅広い時代を対象として、変化する言葉について考える教材が設けられている。巻末の付録には、昔話や神話、百人一首や俳句、古典が掲載されている。</p> <p>⑤ 学習の進め方に合わせて思考の流れが示され、その中に発展的な活動が提案されている。テーマ別に本が紹介されたり、紹介文が添えられたりしている。毎日の出来事や発見を記録することが提案されている。第6学年では、発展的な内容として、中学校で学ぶ特別な読み方の言葉が掲載されている。</p>	<p>① 基礎基本の定着に向けて、単元末の「たいせつ」が示されている。第2学年以上において、巻頭には該当学年の学習内容が領域毎に整理されており、全学年での学習過程と合わせて示されている。巻末には「学習に用いる言葉」や「たいせつのまとめ」が整理して示されている。</p> <p>② 第2学年以上において、情報の扱い方に関わる特設教材が「考えるときに使おう」「関係をとらえよう」「集めるときに使おう」「調べるときに使おう」の4系列に整理して設けられている。第3学年以上の説明的文章の第1単元では、学習内容が活用できるよう練習教材が取り入れられている。</p> <p>③ 第3学年では、実生活で使えるように、実践的な課題が例示された「国語辞典を使おう」が掲載されている。探究的な活動になるように、単元ごとに言語活動、読む観点が示されていたり、とらえる、ふかめる、まとめる、ひろげるという展開が示されたりしている。</p> <p>④ 中学年以上では、伝統的な言語文化にかかわる内容が「声に出して楽しもう」「つたわる言葉」で示されている。高学年では、「書くこと」領域で俳句・短歌を作ることが取り上げられている。第2学年以上で年4回「季節の言葉」が巻末の付録に昔話や落語、古典の歴史等が取り上げられている。</p> <p>⑤ 漢字の広場には、前学年で学習した漢字を使って文を書く内容が補足的に取り上げられている。読書を広げるために、教材に関連した本や本の選び方、読書後の活動等が紹介されている。第4学年では、自分で本を探せるように図書館の工夫について写真をもとに説明されている。</p>
<p>① 上下巻の2分冊構成で、第2学年上巻前半まで分かち書きで記載されている。表紙は、見開きになると1枚の大きな絵として表されている。「文化」のページは、ページ上部にカラーのラインが付されている。第2学年下巻の「しかけ絵本をつくろう」では、巻末に、材料となる台紙等が添付されている。</p>	<p>① 第4学年までは上下巻の2分冊構成で、第2学年上巻前半まで分かち書きで記載されている。各巻には、扉の詩と対応した「わかば」「かがやき」「銀河」「創造」等のタイトルがつけられている。第5学年の巻末付録には、点字と指文字を示した厚紙のページが設けられている。</p>

「令和2年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

2

教科 国語

種目 書写

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	あたらしい しよしゃ 一	1	A B	4 9
		新しい しよしゃ 二	2	A B	4 5
		新しい 書写 三	3	A B	5 7
		新しい 書写 四	4	A B	5 3
		新しい 書写 五	5	A B	5 3
		新しい 書写 六	6	A B	5 3
11	学図	みんなとまなぶ しょうがっこうしよしゃ 一ねん	1	B 5	4 9
		みんなと学ぶ 小学校しよしゃ 二年	2	B 5	4 7
		みんなと学ぶ 小学校書写 三年	3	B 5	4 9
		みんなと学ぶ 小学校書写 四年	4	B 5	5 9
		みんなと学ぶ 小学校書写 五年	5	B 5	5 3
		みんなと学ぶ 小学校書写 六年	6	B 5	5 1
17	教出	しょうがく しよしゃ 一ねん	1	B 5	4 9
		小学 しよしゃ 二年	2	B 5	4 1
		小学 書写 三年	3	B 5	6 1
		小学 書写 四年	4	B 5	6 1
		小学 書写 五年	5	B 5	5 3
		小学 書写 六年	6	B 5	5 3
38	光村	しよしゃ 一ねん	1	B 5	4 5
		しよしゃ 二年	2	B 5	4 1
		書写 三年	3	B 5	5 7
		書写 四年	4	B 5	5 3
		書写 五年	5	B 5	5 5
		書写 六年	6	B 5	5 3
116	日文	しょうがく しよしゃ 一ねん	1	B 5	4 0
		小学 しよしゃ 二年	2	B 5	4 0
		小学 書写 三年	3	B 5	5 6
		小学 書写 四年	4	B 5	5 6
		小学 書写 五年	5	B 5	5 2
		小学 書写 六年	6	B 5	5 2

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新しい書写
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 姿勢や筆記具の持ち方、点画や一文字の書き方、筆順等基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 目的に応じた書き方等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 他教科等との関連や実生活の様々な場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 伝統的な言語文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>① 第1・2学年では、姿勢を意識するための「しよしゃたいそう」が掲載されており、左利きの用の写真や用紙を押さえる側の手の位置も実物大で示されている。各学年、硬筆で書き込む欄が、随所に設けられている。</p> <p>② 書写学習のポイントとなる「書写のかぎ」を集め学習を進めるよう、構成されている。各学年の巻末には自分で選んで活用できるように、これまで学習した「書写のかぎ」が一覧で示されている。</p> <p>③ 第5学年で、目的にあった筆記具を選んでポスターを書くことや、配列に気を付けてリーフレットを作ることが紹介されている。第6学年で、書く速さと内容のまとまりを意識してメモを書くことが取り上げられている。</p> <p>④ 第1・2学年で「花さかじいさん」「いろは歌」、第3・4学年で「俳句」「百人一首」、第5・6学年で「枕草子」「論語」等が学習教材として取り上げられている。第3学年以降巻末で、ローマ字表が掲載されている。第5学年で「世界の文字いろいろ」、第6学年で「外国を紹介するためのポスターの書き方」が示されている。</p> <p>⑤ 「ふり返って話そう」では、自分で学習を振り返るチェック欄が設けられている。第6学年の「学びを生かそう」では、6年間の学びをもとに「書写展覧会を開こう」が取り上げられている。映像資料のある単元には、全学年目次にDマークが示されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 第1・2学年は3～4単元、第3～6学年は8～9単元で構成され、毛筆教材を半紙の大きさを示すことができるよう、B5を横に広げた変形版で構成されている。第3～6学年では、内容を系統的に示すインデックスが掲載され、第1・2学年では、水書用紙が付属されている。</p>

項目	観 点 の 具 体	11・学図 みんなと学ぶ 小学校書写
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 姿勢や筆記具の持ち方、点画や一文字の書き方、筆順等基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 目的に応じた書き方等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 他教科等との関連や実生活の様々な場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 伝統的な言語文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>① 各学年、姿勢を意識するための「書写の合言葉」が共通して掲載されている。各学年の初めと終わりには、硬筆で、前学年で学んだ内容の確かめができるページや、1年間の学びの復習ができるページが設けられている。</p> <p>② 各学年、「学習の進め方」が示されており、「書き方のカギ」として、めあてやポイントが示されている。「考えて書こう」では、自分で考えたり友だちと話し合ったりする活動が設定されている。</p> <p>③ 第5学年で、目的や内容に合わせて筆記具や用紙を選んで書くことが紹介されている。第6学年で、小学校の学習を生かして作品や資料を作ることが掲載されている。両学年で、巻末に「書写の資料館」が示されている。</p> <p>④ 第3学年で俳句、第4学年で「百人一首」「論語」、第5学年で「枕草子」、第6学年で「いろは歌」が学習教材として取り上げられている。第3・4学年の巻末で、ローマ字表が掲載されている。第5・6学年ではローマ字表とアルファベットが掲載され、名前や地名をローマ字で書く活動が設定されている。</p> <p>⑤ 各学習の最後に「ふり返ろう」が設けられ、自分の学びを記述するとともに、確かめるためのポイントが掲載されている。第6学年の「発展」ページで中学校の学習である「行書」が紹介されている。補助資料がある項目にはQRコードが示されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量 使用上の便宜等</p>	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 全学年7～9単元で構成され、手本が半紙原寸大で取り上げられている。裏表紙の「保護者の方へ」で単元毎の学習表が掲載されている。第3～6学年の巻頭に「毛筆学習のはじめに」という折り込みページがあり、第1・2学年は「かぎ」マークのシールが付属されている。</p>

17 教出 小学 書写	38 光村 書写
<p>① 第1・2学年で「よいしせいのあいことば」「えんぴつのもちかたのあいことば」が設定されている。第2学年で鉛筆の運筆等の練習のために水書用紙を使ったり体を動かしたりする「しょしゃの体そう」が紹介されている。</p> <p>② 各学年、「学習の進め方」が示されている。学習の始めに硬筆や毛筆でためし書きをし、学習の終わりにまとめ書きができるよう設定されている。第3学年では、筆使い等の正しいものを自分で判断する欄が設けられている。</p> <p>③ 第5学年で、目的に合った速さや内容のまとまりを意識したメモの取り方、第6学年で、読みやすさを考えたリーフレットの書き方が取り上げられている。両学年で活字体や生活の中の様々な文字について紹介されている。</p> <p>④ 第3学年で俳句、第4学年で短歌、第5学年で「竹取物語」、第6学年で「枕草子」や芭蕉の句が学習教材として取り上げられている。第3学年でローマ字表が掲載されている。第4学年で、世界の「こんにちは」について取り上げられ、それに加えて世界の文字文化や身の回りの外国語が紹介されている。</p> <p>⑤ 学びを自己評価するための「ふり返ろう」が内容毎に設けられている。第6学年の巻末にある「はってん」のページでは、中学1年生の行書につながる内容が紹介されている。目次・裏表紙には、活用資料の「学びリンク」やQRコードが示されている。</p>	<p>① 第1・2学年は、巻頭に書写の学習に向かう「しょしゃたいそう」が設けられている。鉛筆の持ち方や用紙を押さえる側の手の位置が実物大で、また、水筆を使い運筆のおわりを意識して練習できるよう、示されている。</p> <p>② 第3学年以上は「学習の進め方」が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階で示されている。第6学年では、これまで学習した「たいせつ」をまとめ活用するための「書写ブック」が示されている。</p> <p>③ 第5学年で、速さを意識したメモの書き方や配列や筆記具の使い分けを考えた新聞の書き方が紹介されている。第6学年で、わかりやすい文字の配列や小学校の学習内容のまとめが取り上げられている。</p> <p>④ 第2学年で「いろはうた」、第3学年で「俳句」、第4学年で「百人一首」、第5学年で「竹取物語」、第6学年で芭蕉の句が学習教材として取り上げられている。第3学年以降で巻末にローマ字表やアルファベットが掲載されている。第5学年で、英語で名刺を作る活動が取り上げられている。</p> <p>⑤ 学習内容の終わりに、めあてに対する達成度を確認するための「ふりかえろう」が掲載されている。第6学年巻末の「発展」では、中学校の学習内容である「行書」が紹介されている。学習資料動画のある内容には「二次元コード」が示されている。</p>
<p>① 第1・2学年は3～4単元、第3～5学年は8～9単元、第6学年は6単元で構成されている。全学年で裏表紙に「えん筆の持ち方」が掲載されている。第1学年の巻末に「水しようし」が付属され、第3学年の巻頭は毛筆に関わる内容が折り込みページで紹介されている。</p>	<p>① 全学年とも4～6単元で構成されており、第1学年の巻末には水書用紙、第3学年の巻頭には「たしかめようシート」、第6学年は「書写ブック」が付属されている。裏表紙には第1・2学年は50音図見本、第3学年以上は鉛筆や毛筆の正しい持ち方の写真が掲載されている。</p>

項目	観 点 の 具 体	116 日文 小学書写
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 姿勢や筆記具の持ち方、点画や一文字の書き方、筆順等基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 目的に応じた書き方等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 他教科等との関連や実生活の様々な場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 伝統的な言語文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>① 第1学年で「しせいのおいことば」「ゆびのうんどう」が設けられている。各学年、書く姿勢が正面と横から示されており、第3学年以上は毛筆、鉛筆等の筆記具の違いによる持ち方が比較できるよう構成されている。</p> <p>② 各学年、「学習の進め方」が「考える」「確かめる」「いかす」の3段階で示されている。毛筆学習で学んだポイントを生かし硬筆へつなげるよう構成されている。「国語の広場」では言語活動例が取り上げられている。</p> <p>③ 第5学年で、読みやすい提案文の書き方や場面に合わせた速さでの書き方が紹介されている。第6学年で、目的に合った筆記具の選択が掲載されている。「言葉の窓」で語彙を増やすことについて取り上げられている。</p> <p>④ 第3学年で「ことわざ」、第4学年で「俳句」、第5学年で「竹取物語」、「いろは歌」、第6学年で「枕草子」や芭蕉の句が学習教材として取り上げられている。第3学年でローマ字表が掲載されている。第5・6学年では、巻末にアルファベットとエアメールの宛名の書き方が取り上げられている。</p> <p>⑤ 学習内容毎に自分の学びを振り返る「できたかな」が掲載されている。「チャレンジ」で、第2学年では「3年生から毛筆がはじまるよ」、第5学年では「行書って何」、第6学年では「行書をなぞってみよう」が紹介されている。目次で学習参考動画が紹介されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 第1・2学年は5単元、第3～6学年は6～8単元で構成されている。第1・2学年の巻頭には「この教科書の使い方」が掲載されており、巻末には「みずがきシート」が付属されている。第3～6学年の巻頭には「書写学習の進め方」という折り込みページが掲載されている。</p>

「令和2年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

3

教科 社会

種目 社会

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新しい社会 3	3	AB	148
		新しい社会 4	4	AB	180
		新しい社会 5上	5	AB	128
		新しい社会 5下		AB	144
		新しい社会 6 政治・国際編	5	AB	116
		新しい社会 6 歴史編	6	AB	160
17	教出	小学社会 3	3	AB	172
		小学社会 4	4	AB	214
		小学社会 5	5	AB	252
		小学社会 6	6	AB	276
116	日文	小学社会 3年	3	AB	158
		小学社会 4年	4	AB	196
		小学社会 5年	5	AB	280
		小学社会 6年	6	AB	270

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新しい社会
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	① 社会的事象に関する知識、概念や技能等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。 ② 社会的事象の意味を解釈したり事象の特色を説明したりする等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。 ③ 様々な学習場面や社会生活に生きて働く社会的な見方や考え方を養うために、他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。 ④ 我が国の国土と歴史、郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。 ⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	① 学習問題を解決するために必要な言葉には説明文が付されている。また、「地図記号わかるかな?」「だれだろう?歴史人物」等、知識の定着に役立つ教材にアクセスできるよう、「Dマーク」が設けられている。見直しをもって学習に取り組めるよう、全学年「つかむ」「調べる」「まとめる」の学習の進め方が示されている。 ② 「宣伝シール」「壁新聞」「年表」「キャッチフレーズ」等、様々な方法で学習内容を整理できるよう、「まとめる」のページが設定されている。第5学年では、プレゼンテーションソフトを使った発表の仕方が示されている。農業や文化遺産等について、インターネットを使った調べ学習に役立つWebサイトが紹介されている。 ③ 他教科との関連を示す「教科関連マーク」が示されている。実生活の場面への活用のために、「いかす」というページが設けられている。第3学年では、市外の友だちを案内する場所や交通手段を考える活動、第6学年では、公園づくりについて話し合う活動等が取り上げられている。 ④ 領土問題については、第5・6学年で「日本固有の領土」を他国が「不法に占領」「領有を主張」していると記されている。国旗・国歌については、第6学年で明治時代から親しまれてきた日の丸と君が代について記され、法律で定められたことが説明されている。日本とつながりの深い国として、アメリカ、韓国、中国、サウジアラビアが取り上げられている。 ⑤ 発展的な学習活動として、「ひろげる」というページが設けられている。第3学年では、近所の店やコンビニエンスストアについて調べる活動、第4学年では、再生可能エネルギーについて調べる活動、第5学年ではバス会社の情報活用について調べる活動、第6学年では世界遺産について調べる活動等が取り上げられている。
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 等	① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜についてどのような特徴があるか。	① 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方で構成されている。第5学年では、「低い土地の暮らし」と「高い土地の暮らし」等、選択して学習できる教材が配列されている。また、発展的な学習として、「山地の人々の暮らし」等が配列されている。第5、6学年の教科書が、それぞれ二巻にわけられている。

項目	観 点 の 具 体	17 教出 小学社会
<p>(1)</p> <p>内 容 の 特 徴 ・ 表 現</p>	<p>① 社会的事象に関する知識、概念や技能等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 社会的事象の意味を解釈したり事象の特色を説明したりする等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 様々な学習場面や社会生活に生きて働く社会的な見方や考え方を養うために、他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国の国土と歴史、郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 見通しをもって学習に取り組めるよう、巻頭に「社会科の学習の進め方」が示されている。第5、6学年では学習内容の確実な定着のために、キーワード等を書き込むページが用意されている。学習内容の定着に役立つ様々な動画やワークシートが掲載された Web サイトにアクセスできるよう「まなびリンク」が設定されている。</p> <p>② 単元の導入で設定した学習問題を意識しながら学習をまとめたり、振り返ったりするために「まとめる」のページが設定されている。グラフや写真等の資料から読み取る力や表現する力を高めるために「学びのてびき」が示されている。資料等から読み取ったり、考えたりしたことを記述する「やってみよう」が設定されている。</p> <p>③ 探求的な活動を促すために、毎時間の導入で「この時間の問い」が示され、終末で次時の問いにつながる「次につなげよう」が示されている。実生活への活用に向け、「つなげる」のページが設けられている。第4学年では、家庭のごみを調べたり、ごみの減量化や節水に取り組んだりする活動等が取り上げられている。</p> <p>④ 領土問題については、第5・6学年で北方領土、竹島、尖閣諸島が記され、日本の領土を「不法に占領」「自国の領土であると主張」していると説明されている。国旗・国歌については、第6学年で日の丸・君が代が国旗・国歌として法律で定められたと記されている。日本とつながりの深い国として、アメリカ、中国、ブラジル、サウジアラビアが取り上げられている。</p> <p>⑤ 発展的な学習活動として、「ひろげる」というページが設けられている。第3学年では、ちらしを作って店の仕事の工夫を伝える学習、第4学年では、「あまがさきエコクラブ」の活動、第5学年では、自然とともに生きるアイヌの人々の暮らし、第6学年では、命のビザを発行した外交官杉原千畝の業績等が紹介されている。</p>
<p>(2)</p> <p>構 成 上 の 配 列 及 び 分 量 等</p>	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜についてどのような特徴があるか。</p>	<p>① 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の進め方で構成されている。第5学年では、「自動車の生産にはげむ人々」と「製鉄にたずさわる人々」「石油の加工にたずさわる人々」等、選択して学習できる教材が配列されている。第3学年では、「わくわく社会科ガイド」として、インタビューの仕方等が示されている。</p>

- ① 大切な言葉に注目させる「キーワード」や言葉を分かりやすく説明した「むずかしいことば」が示されている。動画等の Web サイトにアクセスできるよう「デジタルマーク」が設定されている。見通しをもって学習に取り組めるように「学習問題」を作ったり、「学習計画」を立てたりする学習が設定されている。
- ② 情報の集め方や活用方法について、「見る・調べる」「読み取る」が設定され、第3・4学年では「地図を読むときのきまり」「学校の消ぼうせつびの調べ方」等が示されている。学習の振り返りやまとめとして、「表現する」が設定され、「キャッチコピーのつくり方」「人物カードのつくり方」等の活動が設けられている。
- ③ 社会的な見方や考え方を養うために、「さらに考えたい問題」が設けられている。第4学年では、災害に備えて自分たちにできることを考える活動、第5学年では、産業で情報を活用するときに必要なことを考える活動、第6学年では、世界の人々がわかり合うための方法を考える活動等が取り上げられている。
- ④ 領土問題については、第5・6学年で、「日本の固有の領土」「日本の領土」を、他国が「不法に占拠」「自国の領土であると主張」していると記されている。国旗・国歌については、第6学年で、日の丸・君が代が国旗・国歌になった経緯と法律で定められたことが記されている。日本とつながりが深い国として、アメリカ、中国、ブラジル、韓国が取り上げられている。
- ⑤ 発展的な学習活動として、「わたしたちの学びを生かそう」のページが設けられている。第3学年では海の安全を守る仕事を調べる活動、第4学年ではごみ問題への取組を調べる活動、第5学年では日本の海にある資源を調べる活動、第6学年では江戸時代のリサイクルについて調べ新聞にまとめる活動等が取り上げられている。
- ① 「ぎもんを見つける」「調べる」「話し合う」「まとめる」「つたえる」等による学習の進め方で構成されている。第5学年では、「水産業のさかんな地域」と「畜産業のさかんな宮崎県」等、選択して学習できる教材が配列されている。目次では、各単元でどのようなことを考えていくのかが、吹き出しで示されている。

4

教科 社会

種目 地図

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新しい地図帳	3~6	A 4	1 0 2
46	帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	3~6	A 4	1 2 0

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新しい地図帳
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 地図の活用に必要な知識及び技能を確実に身に付けさせるために、内容の充実や創意工夫がどのようになされているか。</p> <p>② 知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国の国土と歴史、郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>① P7～14 では、地図の基本的な考え方、凡例、方位、縮尺などが取り上げられている。P55・56 では、地球儀の特徴や使い方が地球儀の写真とともに紹介されている。「定規」をイラスト化した縮尺と高さや深さを示した地形表現が地方図や世界地図でも同一の形式で示されている。</p> <p>② P69 からの主題図を掲載したページでは、見開き右側の上部欄外に各主題を調べる手がかりが示されている。キャラクターの吹き出しにより地図の注目ポイントや主題図のテーマに関連した課題が示されている。インターネットの接続先を示し、学習を深める「Dマーク」が9カ所に設けられている。</p> <p>③ P97～99 の「日本の自然災害」では、火山の噴火、地震、洪水、雪の被害、土砂災害及び津波について地図と写真で取り上げられている。また、大きな被害をもたらした台風の進路図とハザードマップの読み方が示されている。京都市、奈良市及び東京都中心部などについては、イラストを組み込んだ5万分の1の地図が掲載されている。</p> <p>④ P15・16 の「日本とそのまわり」では、東端、西端、南端、北端の島々の写真と説明が掲載され、P18 に尖閣諸島、P27 に竹島の写真が説明とともに掲載されている。P79～80 では旧国名を記した日本全図とともに、我が国の世界遺産の写真と歴史的建築物や伝統的な祭りのイラストが掲載されている。巻末に世界の国旗を配した世界全図が折込で掲載されている。</p> <p>⑤ P5 の「日本の47都道府県」では、都道府県に関するクイズ形式の質問が付されている。各ページには、キャラクターの吹き出しを使って補足の説明や地図を活用する際の手がかり、ヒントなどが示されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容の構成・配列、全体の分量及びその配分や表記、目次、索引、凡例、挿絵や写真、文字表記やレイアウト等その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 目次は、日本の広域図、地方図、拡大図、世界地図、地図学習、資料・統計、索引の項目に分けられ、項目に対応したイラストが付せられている。見開きの左ページにインデックスを色分けして配している。巻末の索引は赤色と黒色の2色で示され、それぞれにチェック欄が設けられている。判型はA版となっている。(全102ページ)</p>

項目	観 点 の 具 体	46 帝国 楽しく学ぶ 小学生の地図帳
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 地図の活用に必要な知識及び技能を確実に身に付けさせるために、内容の充実や創意工夫がどのようになされているか。</p> <p>② 知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国の国土と歴史、郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>① P7～18 では、地図の基本的な考え方、凡例、方位、縮尺、地図記号などが取り上げられている。「トライ」というコーナーで地図の使い方についての課題が紹介されている。P73・74 では、地球儀の特徴や使い方が地球儀の写真とイラストとともに紹介されている。</p> <p>② 地方別地図などに「地図マスターへの道」というコーナーが設けられている。キャラクターの吹き出しにより地図の注目ポイントや課題が示されている。パソコンなどを使って学習を深めるクイズや資料などにアクセスする「二次元コード」が日本の各地方の冒頭部などに示されている。</p> <p>③ P91～94 の「日本の自然災害と防災」では、日本の過去の自然災害をまとめた地図や表、救助活動の様子を示す写真などが取り上げられている。また、自然災害への備えを示す地図などが掲載され、「防災マップづくり」の手順が紹介されている。奈良市、京都市及び東京都中心部などについては、イラストを組み込んだ5万分の1の地図が掲載されている。</p> <p>④ P29・30 の「日本の領土とそのまわり」では、東南アジアまでを含む地図と、東端、西端、南端、北端の島々及び北方領土、竹島、尖閣諸島の写真と説明が掲載されている。千島列島と樺太の帰属についての説明がある。P101 では、日本の歴史年表や旧国名、世界文化遺産の写真などが掲載されている。巻末には世界の国の国旗を配した世界全図が折込で掲載されている。</p> <p>⑤ P115 の「都道府県の名前と位置」では、形や位置など都道府県の特徴を捉える方法が示されている。各ページには、キャラクターの吹き出しを使って補足の説明や地図を活用する際の手がかり、ヒントなどが示されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容の構成・配列、全体の分量及びその配分や表記、目次、索引、凡例、挿絵や写真、文字表記やレイアウト等その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 目次は、地図のやくそく、地図帳の使い方、日本、世界、資料、統計・索引の項目に分けられ、項目に対応したイラストが付けられている。見開きの右ページにインデックスを色分けして配している。巻末の索引は、赤色、青色、緑色、黒色の4色で示されている。判型はA版となっている。(全120ページ)</p>

「令和2年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

5

教科 算数

種目 算数

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	あたらしいさんすう1① さんすうのとびら	1	A 4	4 4
		あたらしいさんすう1② さんすうだいすき!		B 5	1 2 9
		新しい算数2上 考えるっておもしろい!	2	B 5	1 3 7
		新しい算数2下 考えるっておもしろい!		B 5	1 2 1
		新しい算数3上 考えるっておもしろい!	3	B 5	1 5 9
		新しい算数3下 考えるっておもしろい!		B 5	1 3 9
		新しい算数4上 考えると見方が広がる!	4	B 5	1 5 9
		新しい算数4下 考えると見方が広がる!		B 5	1 6 3
		新しい算数5上 考えると見方が広がる!	5	B 5	1 5 7
		新しい算数5下 考えると見方が広がる!		B 5	1 5 3
		新しい算数6 数学へジャンプ!	6	B 5	2 8 1
4	大日 本	たのしいさんすう1ねん	1	B 5	1 7 7
		たのしい算数2年	2	B 5	2 4 3
		たのしい算数3年	3	B 5	2 6 3
		たのしい算数4年	4	B 5	2 8 7
		たのしい算数5年	5	B 5	2 8 9
		たのしい算数6年	6	B 5	2 6 9
11	学図	みんなとまなぶ しょうがっこうさんすう1ねん上	1	AB	1 0 6
		みんなとまなぶ しょうがっこうさんすう1ねん下		AB	9 0
		みんなと学ぶ 小学校算数2年上	2	AB	1 4 5
		みんなと学ぶ 小学校算数2年下		AB	1 4 2
		みんなと学ぶ 小学校算数3年上	3	AB	1 4 1
		みんなと学ぶ 小学校算数3年下		AB	1 5 8
		みんなと学ぶ 小学校算数4年上	4	AB	1 6 2
		みんなと学ぶ 小学校算数4年下		AB	1 6 1
		みんなと学ぶ 小学校算数5年上	5	AB	1 6 2
		みんなと学ぶ 小学校算数5年下		AB	1 6 9
		みんなと学ぶ 小学校算数6年	6	AB	2 4 5
		みんなと学ぶ 小学校算数6年 中学校へのかけ橋		AB	4 8

17	教出	しょうがくさんすう 1	1	B 5	1 8 0
		小学算数 2 上	2	B 5	1 4 9
		小学算数 2 下		B 5	1 3 0
		小学算数 3 上	3	B 5	1 5 6
		小学算数 3 下		B 5	1 4 2
		小学算数 4 上	4	B 5	1 7 8
		小学算数 4 下		B 5	1 6 8
		小学算数 5	5	B 5	3 0 8
小学算数 6	6	B 5	2 7 4		
61	啓林館	わくわくさんすう 1	1	B 5	1 7 6
		わくわく算数 2 上	2	B 5	1 4 8
		わくわく算数 2 下		B 5	1 4 3
		わくわく算数 3 上	3	B 5	1 5 7
		わくわく算数 3 下		B 5	1 3 9
		わくわく算数 4 上	4	B 5	1 7 1
		わくわく算数 4 下		B 5	1 4 2
		わくわく算数 5	5	B 5	3 0 1
わくわく算数 6	6	B 5	2 9 7		
116	日文	しょうがくさんすう 1 上	1	B 5	9 7
		しょうがくさんすう 1 下		B 5	9 3
		小学算数 2 上	2	B 5	1 5 0
		小学算数 2 下		B 5	1 3 1
		小学算数 3 上	3	B 5	1 6 0
		小学算数 3 下		B 5	1 3 2
		小学算数 4 上	4	B 5	1 5 9
		小学算数 4 下		B 5	1 6 4
		小学算数 5 上	5	B 5	1 4 8
		小学算数 5 下		B 5	1 6 6
		小学算数 6	6	B 5	2 8 1

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新しい算数
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 数量や図形について習得した知識・技能をもとに、見通しをもち筋道を立てて考え、表現する力を育成するための言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 様々な学習場面や社会生活に生きて働く算数の能力を身に付けさせるために、他教科等との関連や実生活の場面への活用、問題解決的な活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 単元の終末では、学習の仕上げとして「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう算数の目」のページがそれぞれ設けられている。巻末には、補充の問題も設けられている。</p> <p>② 第2学年以上の「今日の深い学び」では、学習の流れが示され、説明し伝え合う場面が設けられている。第5学年以上の巻末の「プログラミングを体験しよう」では、正多角形をかく手順等が取り上げられている。</p> <p>③ 買い物、防災、乗り物の座席、生活習慣の見直し等の実生活にかかわる問題や、気温の変化や短距離走等の他教科との関連を考慮した教科横断的な教材が取り上げられている。他教科との関連箇所にはマークが示されている。</p> <p>④ 第5学年では、日本の国土の利用の特徴や、円周率を求めた外国の数学者が紹介されている。また、第6学年では、オリンピック記録の数学的な分析が取り上げられたり、4種類の和算の問題が紹介されたりしている。</p> <p>⑤ 巻末の「算数プラス」では、習熟度に応じて選べる補充問題、形で遊んだり数直線の図で考えたりする問題等、取り組める教材がまとめられている。デジタルコンテンツが活用できる箇所に「Dマーク」が示されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量 使用上の便宜等</p>	<p>① 目標や児童の発達段階に照らした各単元の構成・配列及び分量や、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 第1学年は、A4版の中とじて、ページがフラットに開き、算数ブロックを置いたり、書き込んだりする枠が設けられている。第2学年以上は既習内容を振り返られるように、巻末に「ふりかえりコーナー」が設けられている。</p>

4 大日本 たのしい算数	11 学図 みんなと学ぶ 小学校 算数
<p>① 第2学年以上の巻末の学年のまとめでは、前学年までの内容をまとめたページが設けられ、第5学年以上の「チェックアンドトライ」では、前学年までの練習問題が設けられている。</p> <p>② 第2学年以上の巻頭「算数まなびナビ」では、話し方等のポイントが紹介されている。全学年巻末でプログラミングの特設ページが設けられている。第5学年以上ではソフトを活用した学習が取り上げられている。</p> <p>③ 「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、算数が社会で生かされている事例や算数お仕事インタビューが取り上げられており、動画が視聴できるよう構成されている。他教科に関連した活動・題材や統計資料が扱われており、関連事項がマークで示されている。</p> <p>④ 算数に関連した外国の文化や、外国語由来の算数用語が取り上げられている。キャラクターやイラスト等で、外国にルーツをもつ人々が掲載されている。和算を題材とした特設ページが設けられたり、日本の伝統的な模様が紹介されたりしている。</p> <p>⑤ 興味・関心を高める「なるほど算数教室」（第3学年以上）「算数たまたま箱」、家庭でできる「おうちで算数」（第3学年まで）等のページが設けられている。巻末の「プラス1」では、基礎と発展の問題が併記されている。</p>	<p>① 全学年で単元の終末の「できるようになったこと」「まなびをいかそう」の練習問題とは別に、巻末に「ほじゅう問題」が多く設けられている。単元の終末には、自己評価ができるチェック欄が設けられている。</p> <p>② 第2学年以上の「考えるノート」では、自分の考えの書き方を、「まとめるノート」では、学習したことのまとめ方が示されている。全学年の巻末のページには、プログラミングが設けられている。</p> <p>③ 第2学年以上では、実生活の中にある算数的事象が取り上げられており、それらを数理的に処理する場面が設けられている。単元の冒頭では、実生活の場面から問題を発見し、それを算数の課題として取り組むことができる「？を発見」が設けられている。</p> <p>④ 外国の言葉や建物、その国の人口、計算のしかた、オリンピックの種目や施設及び我が国の自然や建物、伝統文化、都道府県のマーク等が取り上げられている。第3学年では「日本のれきし公園100選」が紹介されている。</p> <p>⑤ 単元の終わりには、基礎と発展の2段階の練習問題が取り上げられている。また、実際の生活に生かすことができるよう「深めよう」が設けられている。「ふりかえろう つなげよう」では、学習を統合的に扱った問題が取り上げられている。</p>
<p>① 全学年が学年1冊にまとめられており、振り返るページが掲載されている。学習のめあて、問題解決学習の過程、学習ポイント、1単位時間の区切りの目安が表記されている。ページをめくらないと答えがわからないスタイルで統一されている。</p>	<p>① 問題発見の場面や大切な見方・考え方がイラスト化して示されている。学習内容を細かく分け、小タイトルや思考の流れが記載されている。系統的に図の活用ができるように記述されている。倍の概念等の単元を分割され、繰り返し取り上げられている。</p>

項目	観 点 の 具 体	17 教出 小学算数
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 数量や図形について習得した知識・技能をもとに、見通しをもち筋道を立てて考え、表現する力を育成するための言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 様々な学習場面や社会生活に生きて働く算数の能力を身に付けさせるために、他教科等との関連や実生活の場面への活用、問題解決的な活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 第2学年以上の巻末の「学びのマップ」では、前学年までの学習内容が具体例で詳しく記述されており、単元からも学習したことを確かめられるように設定されている。</p> <p>② 第2学年以上の巻頭「学びの手引き」では、算数で使いたい考え方が具体的に記述されている。「算数が好きになるはじめての一步」では、問題を考えながら、学習の進め方を見ていく活動が設定されている。</p> <p>③ 第2学年以上の単元の導入では、実生活の場面から算数の問題がモデル化された「どんな学習がはじまるかな？」が設定されている。単元末では、既習事項を活用して実生活場面や算数の問題を解決する機会が設けられている。</p> <p>④ ユネスコ無形文化遺産に登録されている「和食」が教材として扱われていたり、伝統工芸品等のデザインから対称な形を見つける活動が取り上げられたりしている。いろいろな国の数の表し方やわり算の筆算の仕方、「和算」等も紹介されている。</p> <p>⑤ 第2学年以上の巻末には、基本問題と発展問題に取り組める「ステップアップ算数」が設けられており、家庭学習のヒントも示されている。第4学年以上の「広がる算数」では、さらに発展的な内容も取り上げられている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 目標や児童の発達段階に照らした各単元の構成・配列及び分量や、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 巻末には、既習事項のまとめや作業的な手順を解説した「学びの手引き」が設けられている。豆知識や典型的な誤答例等の話題が紹介された脚注コラムが設けられている。単元を振り返る4コマ漫画や、数学的な見方を意識づける「算数のミカタ」が示されている。</p>

61 啓林館 わくわく 算数	116 日文 小学算数
<p>① 第2学年以上で単元の終末の「学びのまとめ」の練習問題とは別に、配当時間の多い単元の途中にも、練習問題のページが設けられている。また、単元の終末の振り返りには、具体例が記述されている。</p> <p>② 第2学年以上の巻頭の「わくわく算数学習」では、具体的な問題を通して学習の流れが示されるとともに、巻末の「わかりやすく説明しよう友達の考えをよく聞こう」とリンクし説明のポイントが記述されている。</p> <p>③ 単元導入の「じゅんぴ」では、実生活に関連する問題が取り上げられている。第6学年巻末の「ひろがる算数」では、仕事に算数がどのように活かしているかをインタビューした内容が紹介されており、動画が視聴できるよう構成されている。</p> <p>④ 教材として取り上げられた地域は、全国にわたっており、「金閣」の金箔の量や「博多祇園山笠」の目的地までの直線距離を扱った問題等が取り上げられている。第6学年では、国際協力活動に関する問題も取り上げられている。</p> <p>⑤ 巻末の「学びのサポート」の「じゅんぴ」ではレディネスチェックが、「もっと練習」では基礎と発展の補充ができるように構成されている。単元の入り口や出口に補充問題につながっているQRコードが示されている。</p>	<p>① 第2学年以上で、単元末の練習問題のページである「たしかめポイント」の前に、単元の内容がまとめであるコーナーや、間違いやすい問題に取り組むことができるコーナーが設けられている。</p> <p>② 全学年で考えの説明の具体例が、吹き出しで詳しく記述されている。また、全学年の「自分で みんなで」では、学び合いの仕方のポイントが示された上で、話し合うよう指示されているページが設けられている。</p> <p>③ 単元末の「ハロー！算数」や「Hello!Math」では、学習した内容を使った実生活の問題を扱った教材が取り上げられている。学校での生活場面・気温の変化・ドレッシング作り等、他教科と関連の深い題材が取り上げられている。</p> <p>④ 「なるほど算数」では和食や和算等我が国の伝統文化で算数にかかわりのある題材や外国の長さの単位や世界の人口等が取り上げられている。第6学年の巻末に日本のエネルギー資源に関する問題が取り上げられている。</p> <p>⑤ 巻末の「算数マイトライ」は、3部に分けられており、児童の実態等に合わせて、補充、発展、活用できるように構成されている。単元の終末の練習問題では、振り返りのポイントや学習したページ等も示されている。</p>
<p>① 巻頭に学び方、学期末に学習内容の定着を図る活用問題、巻末に習熟度別補充問題、算数の資料を集めた「学びのサポート」が設けられている。巻末に図形等の学習で切り取って使える教具が設けられている。第4学年以上は、トレーシングペーパーが使われている。</p>	<p>① 学校間連携のページが設けられている。単元の導入で既習事項を振り返るページ、終末に確認のページが設けられている。低学年では同内容の学習が長い間続かないよう、高学年では関連内容をまとめて、また、習熟に時間を要する内容は早期に配列されている。</p>

6

教科 理科

種目 理科

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新しい理科 3 見つけたい。	3	A4	176
		新しい理科 4 たしかめたい。	4	A4	212
		新しい理科 5 くわしく調べたい。	5	A4	180
		新しい理科 6 もっと深めたい。	6	A4	220
4	大日本	たのしい理科 3年	3	AB	192
		たのしい理科 4年	4	AB	222
		たのしい理科 5年	5	AB	190
		たのしい理科 6年	6	AB	222
11	学図	みんなと学ぶ 小学校理科 3年 SCIENCE	3	AB	180
		みんなと学ぶ 小学校理科 4年 SCIENCE	4	AB	204
		みんなと学ぶ 小学校理科 5年 SCIENCE	5	AB	192
		みんなと学ぶ 小学校理科 6年 SCIENCE	6	AB	228
17	教出	みらいをひらく 小学理科 3	3	A4変形	200
		未来をひらく 小学理科 4	4	A4変形	240
		未来をひらく 小学理科 5	5	A4変形	228
		未来をひらく 小学理科 6	6	A4変形	236
26	信教	楽しい理科 3年	3	AB	162
		楽しい理科 4年	4	AB	186
		楽しい理科 5年	5	AB	152
		楽しい理科 6年	6	AB	180
61	啓林館	3 わくわく理科	3	AB	179
		4 わくわく理科	4	AB	203
		5 わくわく理科	5	AB	195
		6 わくわく理科	6	AB	219

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新しい理科
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 自然の事物・現象についての理解や、観察、実験などに関する技能の習得など、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の活動の中で、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 理科を学ぶことの意義や有用性を実感したり理科への関心を高めたりするために、他教科等との関連や日常生活や社会との関連、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国の科学技術の実情や、科学の発展に尽くした人の業績等、また他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容が、教材や学習活動においてどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 学習した基礎的・基本的事項や理科の用語がまとめて掲載された「学んだことをふり返ろう！」が巻末に設けられている。また、器具の名称や使い方の手順が一つ一つ示された資料が巻末に設けられている。</p> <p>② 個人で考えて自らの考えを明確にした上で、対話を行う展開が示された「レベルアップ理科の力」が、各学年に設定されている。また、各場面で働かせる見方や考え方が紹介された「理科のミカタ」が設けられている。体験的な活動の例が示された「プログラミングをやってみよう」が設定されており、プログラムで動く車などの作成が紹介されている。</p> <p>③ 下学年の内容を紹介した「学んだことを使おう」が各単元の冒頭に設けられている。「算数科で学んだことを活用しよう」が設けられている。単元末には、学習内容を振り返ってまとめたり考えたりする「学びをつなごう」が設けられている。</p> <p>④ 学習内容にかかわる職業についての人のインタビューや過去の科学者の業績、最新技術の内容が紹介された「理科のひろば」が設けられている。大雨や地震による災害等が、具体的な写真を用いて紹介され、それを防ぐ工夫や仕組みが関連する単元で取り上げられている。</p> <p>⑤ 一つの疑問について単元の導入で「学ぶ前の私」が取り上げられ、単元の終末に「学んだ後の私」が再び取り上げられている。また日常生活に関係する事象等を取り上げた「学びを生かして深めよう」が設けられ、答えの例が紹介されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 各学年の巻頭には、1年間で学習する単元を整理したページが設けられている。前回のAB版よりも大きいA4版で構成され、昆虫の切り絵や飛び出る人体模型、星座カードの資料等が掲載されている。</p>

項目	観 点 の 具 体	4 大日本 たのしい理科
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 自然の事物・現象についての理解や、観察、実験などに関する技能の習得など、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 自然に親しみ、見直しをもって観察、実験などを行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の活動の中で、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 理科を学ぶことの意義や有用性を実感したり理科への関心を高めたりするために、他教科等との関連や日常生活や社会との関連、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国の科学技術の実情や、科学の発展に尽くした人の業績等、また他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容が、教材や学習活動においてどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 既習事項や用語を書き込みながら確認できるよう空所を含んで掲載された「〇年のまとめ」が巻末に設けられている。また、複数回使用する器具や下位学年で使用した器具の使い方をまとめた「使い方を覚えよう」が巻末に設けられている。</p> <p>② 考察の場面では、グループで話し合う児童の姿が、イラストと吹き出しによって紹介されている。また、巻頭にある「理科の学び方」には、話し合いをする際の留意事項が示された「話し合いのしかた」が紹介されている。基礎、応用等、段階的な活動の具体例が示された「プログラミングを体験してみよう！」が設けられている。</p> <p>③ 学習した言葉を使って説明をする等の探究的な問題が示された「学んだことを生かそう」が単元末に設けられている。学習する内容や数値の処理方法について、算数科の内容と関連付けて紹介された「算数で学ぶこと」が設けられている。</p> <p>④ 先人の科学者やその業績が紹介された「りかのたまてばこ」や「サイエンスワールド」が学習内容に関連する単元に示され、学習内容と生活とのかかわりや環境・技術面の話題についても紹介されている。大雨による洪水や火山、地震による被害とそれらに備える工夫が関係単元で紹介されている。</p> <p>⑤ 単元末に、学習した内容をまとめ復習に活用できる「確かめよう」のコーナーが設けられている。巻末には学んだことを生かす「チャレンジ問題」が設けられている。問題解決の流れに合わせた「教科書の使い方」が示されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 次学年の学習内容を紹介した「〇ねんせいになったら」が設けられている。各ページの上隅に学習の段階が分かる「見つけよう」等の言葉が示されている。「災害に備えようブック」や「星ざシートを作ろう」といった資料等が掲載されている。</p>

11 学図 みんなと学ぶ 小学校 理科	17 教出 未来をひらく 小学理科
<p>① 習得すべき用語を提示した「大事な言葉」のコーナーが単元内に設けられている。また、実験器具の使い方、観察記録の取り方等を解説付きで取り上げられた「考えよう 調べよう」が巻末に設けられている。</p> <p>② 話し合いの場面では、図やフローチャート等を使って、自分の考えを説明したり、整理したりする場面が取り上げられている。また、単元内には自分の記録をつくるためのノートの例が紹介されている。パソコン画面上でLEDを光らせる回路を再現したソフトを用いて、プログラミングをする活動が例示されている。</p> <p>③ 各単元の冒頭には、学習内容と生活場面を結び付けた写真が見開きページで紹介されている。一連の関連する実験や観察ごとに例示された「やってみよう」や、生活場面とのかかわりや雑学的な知識が紹介された「資料」が示されている。</p> <p>④ 内容に関連する、身の回りでの技術的、社会的な側面について紹介された「資料」が単元末に示されている。防災にかかわる「資料」が全ての学年で取り上げられている。関連する学習を取り上げながら主な科学者の業績を紹介した「科学者の伝記を読もう」が設けられている。</p> <p>⑤ 知識及び技能の復習内容や学びを生かして活用する内容が示された「まとめてみよう」が各単元末に示されている。また、日常や身近にあるものを扱った「作ってみよう」や発展的な学習につながる「調べてみよう」等が設けられている。</p>	<p>① 記述の在り方を事例を交えて取り上げた「ノートのとり方」等が示されている。また、用語等を書き込みながら確認するための空所や枠を設けた「たしかめ」が単元末に示されている。</p> <p>② 単元ごとに主人公が設定され、問題解決の過程で友達とかわり合いながら学ぶ姿が、イラストと吹き出しを使って紹介されている。また、話型を例示した「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」が、巻頭に設けられている。Scratchを例に、プログラミングについての説明やプログラミング作成の活動が紹介されている。</p> <p>③ 学習内容を補足説明した「資料」が示されている。探究的な内容が紹介された「チャレンジ」が単元末に設けられている。発展内容を取り上げた「ステップアップ」や、実社会での活用場面を紹介した「科学のまど」が設けられている。</p> <p>④ 巻頭・巻末及び関連ページに、現在活躍する科学者を特集した「メッセージ」や、関連する科学者が紹介された「科学の研究者たち」、科学技術を取り上げた「広がる科学の世界」が設けられている。地震や河川増水による被害について複数取り上げられ、災害に対する備えが紹介されている。</p> <p>⑤ 各学年の冒頭には、学習を進めるに当たり必要とされる基礎知識を示した「〇年で学んだこと」が設けられている。また、発展的な学習に活用できる資料等を紹介した「〇〇ずかん」が各学年末の巻末に設けられている。</p>
<p>① 巻頭には「〇年生で学ぶこと」、巻末には「〇年生で学んだこと」「もうすぐ〇年生」のページが設けられている。各ページに学習段階が分かる「予想」等の言葉が示され、巻末に大事な言葉や調べ方等が探せる索引が設けられている。</p>	<p>① 既習単元や上学年の単元との関連が示された「学習のつながり」が各単元の冒頭に示されている。体に当てて使用する人体内部の図解等の折り込みページが、裏表紙には閉じたままで使える理科の安全の手引きが設けられている。</p>

項目	観 点 の 具 体	26 信教 楽しい理科
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 自然の事物・現象についての理解や、観察、実験などに関する技能の習得など、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の活動の中で、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 理科を学ぶことの意義や有用性を実感したり理科への関心を高めたりするために、他教科等との関連や日常生活や社会との関連、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国の科学技術の実情や、科学の発展に尽くした人の業績等、また他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容が、教材や学習活動においてどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 観察、実験、調査で使用する器具の使い方、操作や測定のポイント等が単元内に示されている。また、図やキーワードを用い、児童の言葉や表現でのまとめの例が紹介された「まとめよう」が単元末に設けられている。</p> <p>② 単元の導入や予想をもち確かめ方を考える場面等、単元の様々な場面での話し合いが、イラストや吹き出しにより紹介されている。特に実験や観察の後には、結果をまとめた学習カードをもとにグループで話し合う児童の姿が取り上げられている。また、プログラミングを体験させるために、簡易センサーライト作りが実験として取り上げられている。</p> <p>③ 各単元の冒頭に、学習内容と生活場面とを結びつける写真が複数枚使用されている。学習内容に合わせて補足説明や発展的な内容が紹介された「資料」が示されている。また、探究的な内容が紹介された「やってみよう」が設けられている。</p> <p>④ 学習内容に関連する科学者や科学的データ等の読み物等が紹介された「資料」が示されている。関連する単元ごとに台風や大雨、地震による災害について写真資料が示され、それらに備える工夫が複数紹介されている。</p> <p>⑤ イラストなどを用いて、中学校での学習内容を紹介した「はってん」が設けられている。また、家庭でも簡単に確認できる内容を扱った「しらべてみよう」が設けられている。身近な材料を利用した「ものづくり」が紹介されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 単元の導入に既習内容と関連させた「思い出そう」が、巻頭には多くの写真を用いた「1年間の学習」が設けられている。動植物や自然現象等の写真が紙面の多くを割いて位置付けられている。横長のA B版で構成されている。</p>

61 啓林館 わくわく理科

- ① 児童の書字を模して書かれた「まとめノート」や、「新しく学習した言葉」として理科用語をチェックできる欄が単元末に設けられている。また、単元内に加え巻末にも「器具の使い方」が紹介されている。
- ② 巻末の「話し合いのしかた」では、話すときと聞くときの要点が例示されている。また、「問題をつかもう」「予想と計画」「結果から考えよう」では、子どもたちの発言の例と共に、話し合う活動の場面がイラストで紹介されている。プログラミング用「シート&シール」を用いた活動「プログラムを考えてみよう」が設けられている。
- ③ 理科と算数のかかわりが、啓林館の算数キャラクターが「算数のまど」で紹介することで、示されている。各学習内容にかかわる探究的内容や発展的内容や、他教科との関連を紹介した「理科の広場」が設けられている。
- ④ 最新技術や環境保全活動を取り上げた「つなげよう」が単元末に設けられている。一人の科学者の業績を通して科学的な考え方を紹介する「理科の考え方をはたらかせよう」が巻末に設けられている。大雨や地震による災害に対する備えや避難について単元内で紹介されている。
- ⑤ 生活場面から生まれる疑問が、単元の導入の「はじめに考えてみよう」や、単元末の「もう一度考えてみよう」で取り上げられている。日常の場面を意識した「活用しよう」や「たしかめよう」が単元末に設けられている。
- ① 各学年の冒頭には日常や既習事項に関連した「思い出してみよう」が、巻末には学習する内容の特徴的な見方を抜粋した「〇年の理科をふり返ろう」や切り取って使用できる「たんけんカード」「光る星座カード」等が設けられている。

7

教科 生活

種目 生活

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ 数
番号	略称				
2	東書	どきどき わくわく あたらしいせいかつ 上	1・2	A4	123
		あしたへ ジャンプ 新しい生活 下	1・2	A4	129
4	大日本	たのしい せいかつ 上 なかよし	1・2	AB	129
		たのしい せいかつ 下 はっけん	1・2	AB	137
11	学図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上	1・2	A4変型	124
		みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上	1・2	A4変型	120
17	教出	せいかつ みんな なかよし 上	1・2	AB	136
		せいかつ なかよし ひろがれ 下	1・2	AB	136
26	信教	せいかつ 上 あおぞら	1・2	AB	128
		せいかつ 下 そよかぜ	1・2	AB	104
38	光村	せいかつ 上 まいにち あたらしい	1・2	AB	148
		せいかつ 下 だいすき みつけた	1・2	AB	108
61	啓林館	わくわく せいかつ 上	1・2	AB	132
		いきいき せいかつ 下	1・2	AB	128
116	日文	わたしとせいかつ 上 みんな なかよし	1・2	AB	143
		わたしとせいかつ 下 ふれあい だいすき	1・2	AB	135

項目	観 点 の 具 体	2 東 書 新しい生活
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	<p>① 身近な人々や社会、自然とかわる具体的な体験や活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 児童が自分自身や自分の生活について多様な方法を使って考え表現するために、言語活動や情報活用能力を育成する活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 各教科等との関連、幼児期の教育や中学年以降の学習、実生活とのつながりを踏まえた内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 児童が伝統的な行事等への関心を高め、地域への親しみや愛着を持つとともに、国際理解を深めることができるようにするために、教材や活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童が自分の思いや願いを生活に生かし主体的に活動する態度を育成するために、体験や活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 上巻では季節を感じるおもちゃ、下巻ではゴム等の身近な材料を使ったおもちゃが取り上げられ、遊びの場づくりも示されている。下巻では、町探検を春と秋の2回行い、季節による商品の相違や働く人の思いが取り上げられている。町の一角の同じ場所が季節ごとにイラストで紹介されている。</p> <p>② 栽培単元では、成長の変化を比較できるよう、変形版ページが設けられ、成長過程を近接するページに写真等でまとめることにより、成長の変化が紹介されている。五感を使って生活科カードを書く方法が紹介されており、学んだことを発表する活動が随所に設定されている。</p> <p>③ ページの右隅に「やくそく」として見学や観察、片付け等のルールがイラストで示されている。上巻巻頭に幼児期の学びから接続するページ、下巻巻末に中学年以降の学習へ接続するページが設けられている。上巻巻末の付録は、切り離して携行できるよう実生活で観察できる内容が示されている。</p> <p>④ 上巻では、「やってみよう」のページに昔遊びの様子が写真で紹介されている。下巻では、行事や節句、各地の祭り等の様子が見開きページにイラストや写真で掲載されている。外国にルーツを持つ児童のイラストや写真が随所に取り入れられている。</p> <p>⑤ 児童の活動を支援し、思考を促すキャラクターからのヒントが適宜掲載されている。発展的、選択的に活用できる「やってみよう」のページが設けられている。下巻では、「学びをふかめる」のコーナーで、児童の深い学びの姿が具体的に示されている。</p>
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 使 用 上 の 便 宜 等	<p>① 内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、また、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 季節の流れを軸に、内容のまとまりごとに単元が配列され、上巻では学校全体、通学路へ、下巻では地域へと活動範囲が広がっていくように学習活動が構成されている。サイズはA4版で、縦に長くなったスペースに、学びのプロセスや児童の作品例、家庭での会話等が図示されている。各単元の冒頭には、巻末付録の関連ページが掲載されている。</p>

<p>4 大日本 たのしい せいかつ</p>	<p>11 学図 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ</p>
<p>① 上巻は「なかよし」、下巻は「はっけん」をテーマに活動が展開されている。上巻には屋外での活動が多く示されている。児童の目線に沿った写真やイラストが掲載され、活動を示唆する児童の吹き出しが示されている。下巻では、町探検を春と秋の2回行い、働く人や町の宝が取り上げられている。</p> <p>② 上巻の栽培、飼育単元では、成長過程ごとに生活科カードの書き方が掲載されている。下巻では、紙芝居や電子黒板を使った発表方法が示されている。巻末付録には、多様なまとめ方を紹介するページとして、「しらべ方 つたえ方」が設けられている。</p> <p>③ 各教科と関連の深いページには、教科等のマークが記されている。「せいかつことば」としてページの右隅に、多様な言葉の表現が示されている。下巻の巻末付録には、地図の作り方の説明が2ページにわたり掲載されている。上巻巻頭にはスタートカリキュラムに配慮した内容が位置付けられている。</p> <p>④ 上下巻で、子どもを中心にした祭りが紹介されている。上巻には、「ふゆごよみ」や日本の遊びを取り上げたページが設けられ、巻末付録で昔遊びの遊び方も紹介されている。下巻の巻末付録には各国の紹介や日本との比較が掲載されている。外国にルーツを持つ児童がイラストで取り上げられている。</p> <p>⑤ 課題意識につながる言葉が、見開きごとに風船の絵の中に示されている。気付きを深め、広げる情報が右端コラムに適宜掲載されている。発展的な内容がキャラクターの言葉で示唆され、児童の想像力を喚起する写真のページが設けられている。学習を家庭につなぐ会話が随所に図示されている。</p>	<p>① 上下巻を通じ複数ページで栽培、飼育が取り上げられている。児童の活動の様子を表す写真等が鮮明に示されている。具体的な活動の方向性が示されるよう、活動を充実させる「ものしりノート」が随所に設けられている。四季折々の自然が紹介されている見開きページが適宜設けられている。</p> <p>② 発達段階に応じた形式、内容の生活科カードが掲載されている。栽培、飼育単元では、成長過程を振り返り、本に仕立てたり、新聞を作ったりするまとめ方が示されている。調べたことを発表する活動場面では、多様な表現方法がイラストで紹介されている。</p> <p>③ 下巻では、原稿用紙を用いた作文の書き方や、はじめ・中・おわりの構成での手紙の書き方が示されている。上巻では、巻頭のスタートカリキュラムから最初の単元につながりをもたせているとともに、巻末付録に、幼児期の教育とも関連が深い「あそぶ」の項目が取り入れられている。</p> <p>④ 上巻の「あそび名人になろう」では、高齢者から学びながら昔遊びをしている様子や遊び方が写真とイラストで掲載されている。下巻では、春夏秋冬の祭りや日本各地の様子が連続ページで掲載されている。外国にルーツを持つ児童がイラストで登場し、国際結婚の家族写真も使用されている。</p> <p>⑤ 上下巻の巻末や下巻の巻頭に、自分の思いや願いを記すページが設けられている。登場人物の会話によって児童の思考が促されるよう、単元の目標は児童の言葉を基にしたリード文が示されている。学びを支援し広げる、複数の図鑑ページが掲載されている。</p>
<p>① 季節の流れに沿った大単元構成で、学習内容が各単元の中で一体的に取り上げられており、上巻から下巻へと学習内容が深まるよう構成されている。表紙は表紙裏と連続性のあるデザインで、諸感覚に訴える凹凸等が取り入れられている。学校探検に用いるカメラや、夜の長さを知る懐中電灯等を作成する仕掛けページが設けられている。</p>	<p>① 上巻から下巻へと、活動や体験の場が広がり、内容的にも深まるよう学習内容が並列され、最終ページでは保護者へ各単元のねらいが紹介されている。A4版より縦が2cm短い紙面で、各見開き左上に単元の中での本時の位置付けが示されている。目次のページでは1年間の見通しを持つことができるよう、単元を行う時期が示されている。</p>

項目	観 点 の 具 体	17 教出 せいかつ
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	<p>① 身近な人々や社会、自然とかかわる具体的な体験や活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 児童が自分自身や自分の生活について多様な方法を使って考え表現するために、言語活動や情報活用能力を育成する活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 各教科等との関連、幼児期の教育や中学年以降の学習、実生活とのつながりを踏まえた内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 児童が伝統的な行事等への関心を高め、地域への親しみや愛着を持つとともに、国際理解を深めることができるようにするために、教材や活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童が自分の思いや願いを生活に生かし主体的に活動する態度を育成するために、体験や活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 上下巻を通じて「やくそく」「ヒント」のコーナーが設けられ、安全かつ充実した活動ができるよう、ポイントが紹介されている。飼育や栽培の方法を詳しく説明したり、四季の自然や昆虫等の様子を図示したりしている図鑑ページが随所に取り入れられている。</p> <p>② 単元末の「なにをかんじたかな」のコーナーでは複数の生活科カードが掲載され、多様な表現例が示されている。思考を活性化して学習活動が展開できるよう、板書に思考ツールを位置付けたまとめ例が紹介されている。下巻では電子黒板を使用したり実演を交えたりする発表方法が紹介されている。</p> <p>③ 単元の中で「社会科へのまど」「理科へのまど」として、社会科、理科との関連が示されている。巻末付録では、各教科との関連や関係する本が紹介されている。上巻巻頭には、絵本仕立てのページを含むスタートカリキュラム、下巻巻末には、中学年へ接続するページが位置付けられている。</p> <p>④ 上巻の夏休み・冬休みのページ、下巻の季節のページで、日本各地の季節の行事や祭りが写真で紹介されている。下巻の町探検の単元では、仕事体験を通して、地域の人の気持ちを考える活動が設定されている。表紙や単元の中に、外国にルーツを持つ児童のイラストや写真が複数掲載されている。</p> <p>⑤ 気付きの質を高めるキャラクターの言葉かけが、適宜掲載されている。児童が想像力を働かせる「もしも」のページや、興味関心を高め、学びを広げるクイズコーナーが随所に取り入れられている。各単元の終末には、学びの軌跡を残し、自己評価を行う振り返りページが見開きで設定されている。</p>
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 使 用 上 の 便 宜 等	<p>① 内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、また、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 上巻から下巻へと、児童の行動範囲や気付きが広がるよう構成されている。目次には活動時期の目安が付されているとともに、各単元の巻頭ページには年間の見通しを持つことができるよう、単元インデックスが示されている。各ページに、特に発揮すると効果的な力がサイコロ型で示され、保護者にも説明がなされている。</p>

26 信教 せいかつ	38 光村 せいかつ
<p>① ヤギを飼育したり、土づくりから栽培を始めたりする等、地域の豊かな自然や日常生活を教材にした様々な体験活動が取り上げられている。里山の四季が見開きのイラストで掲載されている。日本文化や家族の伝統の継承、古い建物への愛着を表す写真やイラストが多く取り上げられている。</p> <p>② 生活科カードへの記入に加え、料理をしたり、考えや気持ちを伝えたりする等の生活に密着した活動が紹介されている。大豆栽培の単元では、板書で大豆の加工食品を示すとともに、大豆の収穫パーティーの企画・実施を通して、実演を交えたプレゼンテーションが掲載されている。</p> <p>③ 上巻では音楽科と関連して季節の歌が紹介されている。また、あさがおの数やウサギの体重や収穫した豆の重さをはかりで量ったりする等のグラフ化する活動が取り上げられている。上巻巻頭には、幼児期との接続並びに日常生活と学校生活とをつなぐことに配慮したページが位置付けられている。</p> <p>④ 上巻では、節分や節句等が写真やイラスト等で掲載されている。下巻では、年末年始の様子が複数ページに掲載されている。地域の行事に込められた人々の思いや願いを調べたり、一緒に参加したりする活動が設定されている。外国にルーツを持つ児童がイラストで取り上げられている。</p> <p>⑤ 主体的な活動につながるように、作文、詩、歌等が学習に関連付けて取り上げられている。家族や高齢者に疑問点を尋ねたり、学習したことを伝えたりする場面や、地域に学習の協力を依頼する場面等が、複数のページで図示により取り上げられている。</p>	<p>① 対象に焦点を当てた写真が多く、児童の活動は吹き出しで示唆されている。発達段階に応じた吹き出しで、上巻前半は短いモノログだが、後半ではグループによる話し合いが取り上げられている。巻末付録では、見つける、くふうする等の体験活動が一覧で示されている。</p> <p>② 上巻の栽培単元で成長の記録等の生活科カードの書き方が各場面で見られている。まとめの学習ではカードを貼り合わせて本にしたりポスターを作ったりする活動が紹介されている。下巻のおもちゃづくりの単元で跳んだ高さや付箋を貼ったり揺れる時間を測ったりする比べ方が紹介されている。</p> <p>③ 上巻では、種や球根の大きさが実物大と1cmさきみのめもりで示されている。上巻最初の単元は、スタートカリキュラムに配慮した「あたらしいいちねんせい」が設けられている。全単元に「どうすれば」のコーナーが設けられており、実生活と関連付けて児童自身が考える場面が設定されている。</p> <p>④ 上巻の夏と冬のページでは、祭りや季節の行事等が写真で掲載されている。下巻巻末には「きせつのおくりもの」として四季の町の様子が複数ページ連続で掲載され、イラストの景色の中に地域の行事や旬の食物等が取り上げられている。外国にルーツを持つ児童がイラストで取り上げられている。</p> <p>⑤ 各単元の導入で、学習の見通しを持つコーナーが設定され、単元末には学習を振り返ったり、次の学びへつなげたりする児童の発言例が複数示されている。巻末には、振り返りを記入するシールも付されている。発展的な活動へいざなう「もっとやってみたい」ページが随所に取り入れられている。</p>
<p>① 地域の人、もの、こととのかかわりやふれあいを通して学びを深めていくよう、構成されている。2年間を通した長期的な活動を展開する配列がなされており、学校での実践の様子が写真で掲載されている。右開きで製本され、説明文、学習カード等は縦書きで記されている。巻頭ページに生活科のねらい等を説明した保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>① 「ホップ」（導入）・「ステップ」（展開）・「ジャンプ」（振り返り）の3段階で各単元が構成されている。各単元は、季節を追って配列されているが、指導の順序を柔軟に入れ替えることができるよう、活動のまとめりごとに単元が構成されている。イラストや吹き出し、マーク等は、色彩豊かに大きく示されている。</p>

項目	観 点 の 具 体	61 啓林館 せいかつ
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	<p>① 身近な人々や社会、自然とかかわる具体的な体験や活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 児童が自分自身や自分の生活について多様な方法を使って考え表現するために、言語活動や情報活用能力を育成する活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 各教科等との関連、幼児期の教育や中学年以降の学習、実生活とのつながりを踏まえた内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 児童が伝統的な行事等への関心を高め、地域への親しみや愛着を持つとともに、国際理解を深めることができるようにするために、教材や活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童が自分の思いや願いを生活に生かし主体的に活動する態度を育成するために、体験や活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 上巻では、季節の変化に気付きやすくするために身近な場所である校庭の四季が取り上げられている。下巻では、活動の前に児童が話し合う場面が設けられている。各単元末に自分の活動を具体的に振り返ることができる「できるかなできたかな？」のコーナーが設けられている。</p> <p>② 巻末付録に生活科カードの書き方、話し合いの進め方、発表方法、手紙の書き方等が詳しく示されている。下巻では、生活科カードをまとめて成長日記を作ったり、新聞にまとめたりする方法が紹介され、映像や音を使ったプレゼンテーションも掲載されている。</p> <p>③ 各教科との関連が深い内容には、マークが付されている。上巻巻頭に「すたあとぶっく」、下巻巻末に「ステップブック」が位置付けられ、保護者の学習への関心を高めるメッセージも掲載されている。各単元末には、学習を生活に生かす「ひろがるきもち」のコーナーが設けられている。</p> <p>④ 上巻では夏や冬の生活の様子が写真や歌、画像で紹介され、下巻では四季の日本の祭りや伝統行事が写真で紹介されている。上下巻を通じて外国にルーツを持つ児童のイラストが登場するとともに、上巻では世界のけん玉が紹介され、下巻巻末で日本と他国の挨拶や遊び等の比較がされている。</p> <p>⑤ 各単元の導入時に、思いや願いを持つための「わくわくボックス」のページが位置付けられている。各ページ見開き右下には、次時へのつながりを持たせるめくり言葉が示されている。気付きを促したり疑問を投げかけたりする言葉が、キャラクターや教師の挿絵の色付きの吹き出しで示されている。</p>
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 、 使 用 上 の 便 宜 等	<p>① 内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、また、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 「わくわく」(導入)・「いきいき」(主たる活動)・「ぐんぐん」(振り返り)の3段階で各単元が構成されている。上巻は「学校」を主として、下巻は「地域」を主として内容が配列されている。最終ページで、教科書の構成等が保護者へ向けて示されている。巻末付録の「がくしゅうずかん」が活動に応じて参照できるよう、本編に関連ページが示されている。</p>

- ① 季節を感じる外遊びが児童の様々な表情の写真とともに掲載されている。上巻の栽培単元では、ページを折ることで種・葉・花等をひと目で見ることができるよう構成されている。下巻では、栽培の課題を書いた付箋を貼っておくと友達から解決策が届くという問題解決活動が示されている。
- ② グループ活動のイラストで様々な話し合いの仕方が例示されている。単元ごとに、内容に応じた表現活動の例が掲載されている。教室背面のイラストには、年間を通じた成果物の掲示が紹介されている。思考過程を整理した板書のイラストが複数掲載されている。
- ③ 下巻の飼育単元では、活動の振り返りとして原稿用紙に作文を書いたり、絵や立体にして表したりする活動が取り上げられている。上巻の巻頭に「いちねんせいになったら」として最初の単元につながる、スタートカリキュラムに配慮したページが設けられている。
- ④ 上巻では、秋と冬の祭りや伝統行事等が比較して見られるように示されている。下巻には、季節の暮らしの様子が比較できる「きせつのへんかとからし」の見開きページが設けられ、昔遊びの様子が写真で紹介されている。外国にルーツを持つ児童が主な登場人物として取り上げられている。
- ⑤ 各見開き左ページ下には学習のめあてが示されており、右ページ下には次の活動へいざなう「ふりかえるつなげる」コーナーが設けられている。夏休み中、主体的に活動に取り組むための特設ページが設けられている。活動を支援する言葉かけをするよう、3種のキャラクターが位置づけられている。
- ① 上巻では季節ごとのフィールドワークが繰り返し行われるよう構成されている。巻頭では、児童向けに教科書の使い方が説明されている。知識・技能、習慣を身に付ける「ちえとわざのたからばこ」が巻末に位置付けられているとともに、単元に深く関連する内容は、「ポケット図かん」として各単元に収録されている。

8

教科 音楽

種目 音楽

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
17	教出	小学音楽 おんがくのおくりもの 1	1	AB	74
		小学音楽 音楽のおくりもの 2	2	AB	74
		小学音楽 音楽のおくりもの 3	3	AB変形	76
		小学音楽 音楽のおくりもの 4	4	AB変形	76
		小学音楽 音楽のおくりもの 5	5	AB変形	76
		小学音楽 音楽のおくりもの 6	6	AB変形	76
27	教芸	小学生のおんがく 1	1	AB変形	83
		小学生の音楽 2	2	AB変形	83
		小学生の音楽 3	3	AB変形	87
		小学生の音楽 4	4	AB変形	87
		小学生の音楽 5	5	AB変形	87
		小学生の音楽 6	6	AB変形	87

項目	観 点 の 具 体	17 教出 小学音楽 音楽のおくりもの
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 音楽に対する感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさ等を見いだしたりする等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 曲想と音楽の構造等との関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現を工夫するために必要な技能を身に付けるために、音楽科の特質に応じた言語活動の内容をどのように位置付けたり、情報活用能力を育成したりする活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、実生活や社会の中の音や音楽の働きについての意識を深めることができるような内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>① 音のスケッチ(音楽づくり)や鑑賞教材のページでは、学びや気付きがメモできるようなページが構成されている。3～6年生では、巻頭に「スキルアップ」と題し、歌声とリズムがトレーニングできる楽曲が掲載されている。</p> <p>② 言語活動の基となる〔共通事項〕を、楽曲ごとに扱うものを「音楽のもと」としてページ右上に掲載されている。また、巻末には、学習の際に音楽をことばで表すための資料として「音楽を表すいろいろな言葉」や、1～4年生では「楽器図鑑」として楽器の紹介や奏法について掲載されている。</p> <p>③ 生活や社会の中の音や音楽と主体的に関わっていくことができるよう6年生では音楽による復興支援の紹介、2年生では学校やまちの音等の自然音や環境音について掲載されている。</p> <p>④ 共通教材や日本で歌い継がれている楽曲を「にっぽんのうた みんなのうた」として掲載されている。4年生では太鼓の口唱歌や日本のおはやしのリズムと諸外国のリズムが比較できるよう掲載されている。</p> <p>⑤ 全学年共通した楽曲が全校合唱として紹介されており、各学年の発達段階に応じた難易度や楽器編成で演奏できるよう掲載されている。3～6年では音楽のもととして学びや気付きがメモできるようなページが構成されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 教科書は、低学年がA B判(210mm×257mm)、中学年以上がA B変形判(210mm×277mm)で構成されている。3・5年生では透明シートを使用し、楽譜に使用する音符や休符、オーケストラについて掲載されている。</p>

27 教芸 小学生の音楽

- ① 器楽の導入では、楽器の構え方や演奏する音のイメージが写真や図で示されている。鑑賞教材では、リズムや音の高さが見える化した図形楽譜が用いられている。演奏のポイントや活動の手掛かりがキャラクターによって示されている。
- ② 言語活動の基となる〔共通事項〕が、楽曲ごとに扱うものはページ右下に掲載され、題材名にも含まれている。また、巻末には学習した内容をまとめた「ふり返りのページ」や、4～6年生では「音楽の歴史をつくった人」として教科書内で紹介された作曲家が掲載されている。
- ③ 生活や社会の中の音や音楽と主体的に関わっていくことができるよう、6年生では特集ページとして震災復興の歌やブラインドサッカー等生活を豊かにしたり元気づけたりする音楽について掲載されている。
- ④ 共通教材を「こころのうた」、日本で歌い継がれている楽曲が「歌いつごう日本の歌」として掲載されている。3年生では太鼓の口唱歌、4年生では箏の縦書きの楽譜等、他国の音楽との比較ができるよう掲載されている。
- ⑤ 各学年で学習する内容が「音楽の木」として巻頭に見開きで掲載されている。歌唱では感じたことや気付いたこと、音楽づくりではリズムや使う音を直接記入できるようページ構成されている。
- ① 教科書は、AB変形判（210mm×261mm）で構成されている。目次は題材ごとのまとまりで色分けされている。巻末には6年間で学習するリコーダーの運指表・音符・記号等がまとめられてあり、各学年の既習事項は色分けされている。

9

教科 図画工作

種目 図画工作

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
9	開隆堂	ずがこうさく 1・2 上 わくわくするね	1・2	A4	57
		ずがこうさく 1・2 下 みつけたよ	1・2	A4	57
		図画工作 3・4 上 できたらいいな	3・4	A4	57
		図画工作 3・4 下 力を合わせて	3・4	A4	57
		図画工作 5・6 上 心をひらいて	5・6	A4	57
		図画工作 5・6 下 つながる思い	5・6	A4	57
116	日文	たのしいな おもしろいな ずがこうさく 1・2 上	1・2	A4	67
		たのしいな おもしろいな ずがこうさく 1・2 下	1・2	A4	65
		ためしたよ 見つけたよ 図画工作 3・4 上	3・4	A4	65
		ためしたよ 見つけたよ 図画工作 3・4 下	3・4	A4	65
		見つめて 広げて 図画工作 5・6 上	5・6	A4	65
		見つめて 広げて 図画工作 5・6 下	5・6	A4	65

項目	観 点 の 具 体	9 開隆堂 図画工作
<p>内容の特徴・表現</p>	<p>① 造形的な創造活動の基礎的な能力を育成するために、教材や学習活動がどのように取り入れられているか。</p> <p>② 知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育成するための言語活動に関する内容や情報活用能力を育成する内容が、表現及び鑑賞の活動を通してどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 他教科等との関連や実生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成につながる内容、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国や郷土の伝統的な工芸品や美術作品などについて理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、諸外国の美術作品を尊重し、国際社会の平和を考えるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>① 各題材には、3つの観点で学習のめあてが明記され、重点も示されている。めあてに即したアドバイスがキャラクターの吹き出しで掲載されている。ページの左上部には材料や用具、右下部には安全な使用方法や片付け方のポイントが写真やイラストとともに示されている。</p> <p>② 巻末の「造形の引き出し」では材料や技法が例示され、3・4年下巻では「話し合いのしかた」も紹介されている。試作ができる「ためしてみよう～Let's try!～」や「ひらめきコーナー」が紹介されている。「小さな美術館」では、触って鑑賞する活動や比較して鑑賞する活動が紹介されている。</p> <p>③ 他教科と関連させて「あわせて学ぼう」が紹介され、3・4年上巻より図画工作科に関する用語が英単語で示されている。5・6年では、上巻の「つながる造形」において相互鑑賞の提案やポスター及び競技用車いすが、下巻の「つながる思い」において動物園の表示が紹介されている。</p> <p>④ 「みんなのギャラリー」では、伝統工芸や地域のアート活動との交流等が紹介されている。高学年では、風神雷神図屏風等の日本の美術作品と、ミロなどの諸外国の作家の美術作品、諸外国の児童作品が提示されている。平和と希望をテーマにした岡本太郎の作品や共同作品が紹介されている。</p> <p>⑤ 内容や材料等に応じて題材名と題字が提示されている。表紙の後に、様々なジャンルの図や写真が題字と同じテーマで提示されている。5・6年上巻の「美術館をたのしもう」では各美術館の体験や、「つながる造形」では写真に撮った像をプログラムして動かす内容が、紹介されている。</p>
<p>構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 児童の発達段階に応じた各題材や内容が系統的に構成され、表現と鑑賞の活動との関連、学習を効果的に進めるために配列や分量、表紙、巻頭・巻末、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜についてどのような特徴があるか。</p>	<p>① 表紙の題字が材料の違いを生かした文字で提示されている。児童作品の下に思いや工夫したことが記載されている。巻末の「学びの資料」では材料や用具、技法等が例示され、5・6年下巻ではコンピュータ活用時の安全事項が掲載されている。PCで教科書の内容にあった資料を見ることが可能なQRコードが提示されている。</p>

- ① 各題材には、3つの観点で学習のめあてが明記されている。発想の仕方やつくり方、活動の進め方のアドバイスをキャラクターの吹き出しで掲載されている。ページの左下部には材料や用具が、右下部には安全な使用方法や片付け方のポイントが示されている。
- ② 巻末には「使ってみよう材料と用具」で材料や技法が例示されている。3・4年下巻の鑑賞では「気づいたことや感じたことをつたえ合おう」が、5・6年下巻ではゴッホやマネの作品と拡大部分が掲載されている。形や色、材料や視点等発想のヒントとなる「ひらめきポケット」が紹介されている。
- ③ 道徳科との関連を「ふくろう」のキャラクターで示されている。「つながりひろがり」では、学校行事と関連した作品や家庭での鑑賞の様子、校内外の展示、現代の作家が紹介され、5・6年上巻では、視覚的な図で表された記号として多くの人に伝えるためのマークや道路標識が紹介されている。
- ④ 5・6年下巻「わたしの感じる和」で伝統工芸や生活の中の和を感じ取る内容が紹介されている。3・4年下巻の「ポーズのひみつ」でポーズをテーマに日本と西洋の作品が紹介されている。5・6年下巻「平和をつなげる形」で作品のメッセージを読み取る内容としてゲルニカが紹介されている。
- ⑤ 内容や材料等に応じて題材名と題字が提示されている。巻頭の「教科書美術館」では、様々なジャンルやテーマで写真や作品が掲載されている。5・6年上巻の「形が動く絵が動く」では、写真を連続して動かすアニメーションが紹介されている。
- ① 表紙の後に副題字と同じテーマのページが示されている。児童作品の下に思いや工夫したことが記載されている。巻末には「使ってみよう材料と用具」で材料や技法が例示されている。5・6年上巻では、材料を接着するのに活用できる接着剤の適合表が提示され、5・6年下巻では、インターネットの活用から著作権が取り上げられている。

10

教科 家庭

種目 家庭

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新しい家庭 5・6	5・6	A4	145
9	開隆堂	わたしたちの家庭科 5・6	5・6	AB	137

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新しい家庭5・6
(1) 内容の特徴・表現	① 日常生活に必要な基礎的な理解や技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。 ② 知識技能を活用して考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。 ③ 他教科等との関連や日常生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。 ④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。 ⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。	① 基礎的な理解や技能の定着を図り、図や実物の写真で確認しながら活動ができるように「いつも確かめよう」が示されている。特に巻末では、包丁の持ち方等が教科書の上に手を乗せて確認できるように写真が実物大で示されている。 ② 児童が題材で学んだ知識技能を基にして考え、自分の言葉で表現することができるように「考えよう」、「話し合おう」、「調べよう」等が、具体的なレポートや表の記述例を交えて掲載されている。 ③ マークを用いて他教科との関連が示されている。題材の導入では、自分なりに課題を持って学習に取り組めるように児童の身近な場面が具体的に写真等で示されている。「調べよう」では、児童に身近なものが具体的に紹介されている。 ④ 伝統的な内容が、「日本の伝統マーク」を付けて掲載されている。異なる視点から日本の文化を捉えられるような記事が掲載されている。他国を尊重する態度を養うため、外国の方と関わる様子が文やイラストの中に示されている。 ⑤ 生活の中から課題を見付けられるように促し、家庭学習へとつないでいけるように生活の課題と実践が「生活を変えるチャンス!」として示されている。児童が自主的に家庭や地域で取り組める具体例が「深めよう」で示されている。
(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等	① 内容の構成・配列、全体の分量及びその配分や表記、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	① 学習内容は5学年で8題材、6学年で7題材から構成されている。問題解決的に学習を進めるために、どの題材も学習の流れは3ステップで構成されている。学びを深めるために各題材の初めに、生活を見つめるときの見方や考え方が「家庭科の窓」として示されている。

9 開隆堂 わたしたちの家庭科5・6

- ① 調理や製作などの実習手順は、児童の視線に沿うように、見開きページで横に流れるように示されている。特に技能面の写真は、細部の理解を図ることができるように拡大写真やイラストが示されている。
- ② 知識技能を活用して考え、判断できるように「話し合おう」や「考えよう」の中で具体的な活動が示されている。学びを言葉で表現したり、まとめたりできるように、振り返りカードや活用報告書等が紹介され、記述例も示されている。
- ③ 他教科との関連が「関連」マークで示されている。題材での学びを生活に生かすことができるように「生活に生かそう」で具体例が示されている。生活の中から問題を見つけやすいように題材の初めに着目させたい写真等が掲載されている。
- ④ 日本の文化や先人の工夫に気付くように、日本の伝統的な生活文化には「伝統マーク」が付けられている。他国への理解を深めることができるように、外国の料理やリユースに関連して国際ボランティアの写真が紹介されている。
- ⑤ 発展内容に取り組めるように「家庭で実践しようチャレンジコーナー」が設けられている。また、学んだことをさらに生かすことを考えることができるように「レッツトライ生活の課題と実践」のページが設けられ、課題例が掲載されている。

- ① 学習内容は5学年で11題材、6学年で9題材から構成されている。全題材を通して、問題解決的に学習に取り組むために3ステップで学習を進めるように構成されている。生活の営みに係る見方・考え方の4つの視点がマークやイラストで示されている。

1 1

教科 体育

種目 保健

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新しいほけん 3・4	3・4	A4	45
		新しい保健 5・6	5・6	A4	81
4	大日本	たのしいほけん 3・4年	3・4	AB	37
		たのしい保健 5・6年	5・6	AB	57
207	文教社	わたしたちのほけん 3・4年	3・4	A4	33
		わたしたちの保健 5・6年	5・6	A4	53
208	光文	小学ほけん 3・4年	3・4	A4	41
		小学保健 5・6年	5・6	A4	65
224	学研	みんなのほけん 3・4年	3・4	A4	37
		みんなの保健 5・6年	5・6	A4	57

項目	観 点 の 具 体	2 東 書 新しい保健
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 健康・安全の大切さに気付く等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 保健を学ぶことの意義や有用性の実感及び健康・安全への関心を高める観点から、他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>① 単元の冒頭に学習内容から目標へとつながる流れが示されている。「気づく・見つける、調べる・解決する、深める・伝える、まとめる・生かす」の4つのステップで学習が進められ、ステップ4では大事な言葉の確認や学習後のふり返りを記述する欄が設けられている。</p> <p>② 「深める・伝える」コーナーでは、学習したことを基に考えたり、友達と意見を交流したりして記述する欄が設けられている。詳しく学習するためインターネットを活用した学習ができるDマークが示されている。インターネットによる犯罪被害について取り上げられている。</p> <p>③ 各単元のはじめに、学習内容に関連する教科名や学年が示されている。実生活の場面への活用として、第3・4学年で、日常生活に取り入れられる運動の例が示されている。第5・6学年では、不安や悩みの対処方法の例が紹介され、自分に合った対処方法を考える活動が取り上げられている。</p> <p>④ 第3・4学年では、健康を守るために学校で行われている活動が取り上げられている。5・6学年では、ユニバーサルデザインを探す活動や、災害時の保健活動、避難所で小学生ができることについて取り上げられている。</p> <p>⑤ 小単元のはじめで「学習の課題」と「学習の進め方」が明記されている。小単元のおわりには、学習内容を実生活につなげられるような資料が示されている。また、各単元のはじめには、関連のある教科等が紹介され、各単元のおわりには、学習をふり返るコーナーが設けられている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭、巻末の資料、挿絵、写真、文字表記、レイアウト等その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 3年生初めと4年生終わりの自分の考え方や様子を記入するコーナーとして、「どんな自分になりたいかな」が設けられている。各単元のはじめには、学習内容に関連する写真やイラストが示されており、「学習をふり返ろう」では分かったことを◎○△で記入する活動が設定されている。</p>

4 大日本 たのしい保健	207 文教社 わたしたちの保健
<p>① 単元のはじめに、学校や地域での生活の様子がイラストで大きく描かれており、普通の生活から学習課題につながるように示されている。課題について自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりして取り組む「話し合ってみよう」の活動が多く取り入れられている。</p> <p>② 単元末では、学習したことを振り返り、毎日の生活に活かすことができるよう、具体的に考えて記述する欄が設けられている。さらに詳しく学習するために、インターネットの動画や資料を使って学ぶ活動が取り入れられている。SNSで気を付けることを紹介しているコーナーが設けられている。</p> <p>③ 各ページ下部に、学習内容に関連する情報が示されている。第3・4学年では、睡眠と成長ホルモンの関係について取り上げられている。第5・6学年では、自分の気持ちを上手に伝える方法として「相手の様子・自分の気持ち・提案・提案理由」を用いた伝え方が例として示されている。</p> <p>④ 第3・4学年では、日本や外国の誕生や成長を祝う行事や文化について取り上げられている。第5・6学年では、心と体の関係を表す言葉や、国際オリンピック委員会と世界保健機構が取り組むたばこ対策について取り上げられている。</p> <p>⑤ 各小単元では、「やってみよう」「話し合ってみよう」や「活用して深めよう」のコーナーで、各活動を促す内容が取り上げられている。各単元のおわりには、「もっと知りたい」のコーナーがあり、学習内容を発展させる資料が示され、各単元のまとめのページが設けられている。</p>	<p>① 身近な生活場面がイラストで紹介され、現在の自分の生活を振り返ってから学習課題について調べたり考えたりしていくように示されている。イラストが複数取り上げられており、吹き出しを使って説明を加えたり、比較したりする等の構成となっている。</p> <p>② 今までの自分の生活を振り返り今後どう活かしていくのかを考えて記述する「新しい自分にレベルアップ」のコーナーや「わたしの〇〇宣言」のコーナーが設けられている。体の仕組みや歯の健康、たばこの害等を詳しく調べられるよう、ホームページのアクセスが示されている。</p> <p>③ 実生活へつなげるために目標を立てる活動として、各単元末に「わたしの〇〇宣言」コーナーが設定されている。第3・4学年では、運動習慣と新体力テスト合点数の関連がグラフで示されている。第5・6学年では、相談の仕方・受け方について取り上げられている。</p> <p>④ 第3・4学年では、学校給食に地元の食材や郷土料理が取り入れられていることについて示されている。第5・6学年では、自助・共助・公助の連携の必要性や、喫煙の害から健康を守る日本の取組が取り上げられている。</p> <p>⑤ 「調べてみよう」や「話し合ってみよう」において、学習のポイントをつかむことができるような課題が示されている。学習内容をさらに深められる「情報コーナー」や、学習内容を実生活につなげるための思考を促す「新しい自分にレベルアップ」のコーナーが設けられている。</p>
<p>① 巻頭ではマークやキャラクターにより学習や活動の進め方が示され、3・4年では自分の夢や目標を記入するコーナーも設定されている。1単位時間の学習が見開きのページで示され、各ページに「ミニちしき」が複数紹介されている。3・4年巻末には学習で活用できるシールが付されている。</p>	<p>① 各単元の導入で学習に関連するイラストや写真が示されている。1単位時間が「調べてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」等の3～4の学習活動として設定されている。まとめの文章には背景色が付けられ、重要な言葉や文章が太字で表記されている。</p>

項目	観 点 の 具 体	208 光文 小学保健
内容の特徴・表現	<p>① 健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 健康・安全の大切さに気付く等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 保健を学ぶことの意義や有用性の実感及び健康・安全への関心を高める観点から、他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>① 学ぶことと自分のこれまでの生活とのかかわりを考えてから学習課題をつかみ、課題解決に向けて学習していくよう、「はじめに」が示されている。分かりやすく学習内容を解説するため、専門的な用語の解説、内容にかかわりのある仕事をする人の話、写真等の科学的な資料等が掲載されている。</p> <p>② 「話し合おう」として具体的なテーマが示されており、学習したことをもとに自分の考えを話したり友達の意見を聞いたりする活動が多く取り入れられている。調べ学習に役立つウェブサイトが紹介され、インターネットの正しい使い方が紹介されたコーナーが設けられている。</p> <p>③ 巻頭に「保健を学ぶみなさんへ」コーナーが示され、オリンピック選手やパラリンピック選手等の言葉が取り上げられている。実生活への活用場面として、第3・4学年では運動量をテーマに運動の種類と時間の関係、第5・6学年ではよりよいコミュニケーションについて取り上げられている。</p> <p>④ 第3・4学年では、健康を守るために学校で行われている活動が取り上げられている。第5・6学年では、子どもを受動喫煙から守るための自治体の取組や、地域の保健所や保健センターの取組を調べる活動が取り上げられている。</p> <p>⑤ 巻頭には、学習を進めるための内容やアドバイスが示されている。学習内容をさらに広げたり深めたりできる資料として「さらに広げよう深めよう」のページが設けられている。各単元のおわりには、学習したことを確認し、自分でふり返りができるように「学習のまとめ」が設定されている。</p>
構成・配列及び分量、使用上の便宜等	<p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭、巻末の資料、挿絵、写真、文字表記、レイアウト等その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 各単元で、自分の考えや気づきを記入する「生かそう 伝えよう」が設定されている。巻頭にオリンピック・パラリンピック選手等の写真や言葉が示されている。重要な言葉や文章が太字で表記されている。第3・4学年の5ページには、インターネットを使う時の注意事項が記述されている。</p>

- ① 巻頭に1時間の学習の進め方が紹介されており、この時間に学ぶことを確認してから「つかむ、考える・調べる、まとめる・深める」の段階で学習が進むように示されている。知識を解説するために、保健室の先生、学校医、薬剤師等のキャラクターが設定されている。
- ② 「じっけん・実習」コーナーでは、具体的な場面で実際に確かめる活動が取り上げられている。学習を広げ深めるため、教科書サイトが紹介されている。巻末に第3・4学年は学習したことを生活に生かそうと思ったこと、第5・6学年は自分の夢や希望を書く欄が設けられている。
- ③ 小单元ごとに、「まとめる・深める」コーナーがあり、学びを活用したり生活につなげたりする活動が取り上げられている。実生活の場面への活用として、第3・4学年では、睡眠の必要性や良い睡眠をとるための工夫が示されている。第5・6学年では、いじめの例が示され、対処方法について取り上げられている。
- ④ 第3・4学年では、給食のこんだてや家での食事から郷土料理を見つける活動が紹介されている。第5・6学年では、巻頭で日本人による海外での保健活動の様子や、医学・保健分野で世界的に活躍した日本人について取り上げられている。
- ⑤ 巻頭で「ほけんの見方・考え方」について示されている。各小单元では、普段の生活をふり返り、課題に気付くよう「つかむ」のコーナーが設定されている。また、学習意欲が喚起されるよう、学習内容を発展させる資料が「もっと知りたい調べたい」のコーナーで紹介されている。
- ① 巻頭に教科書に出てくるマークやキャラクターが紹介されている。1単位時間が見開きページで示され、「まとめる、深める」は自分で記述するよう構成されている。巻末で、第3・4学年は学習したことを生活に生かそうと思ったこと、第5・6学年は自分の夢や希望を書く欄が設けられている。

1 2

教科 外国語

種目 英語

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ペー ジ数
番号	略称				
2	東書	NEW HORIZON Elementary 5 English Course	5	A 4	9 6
		Picture Dictionary NEW HORIZON Elementary English Course	5・6	A B	4 8
		NEW HORIZON Elementary 6 English Course	6	A 4	9 6
9	開隆堂	Junior Sunshine 5	5	A B	1 1 9
		Junior Sunshine 6	6	A B	1 2 7
11	学図	JUNIOR TOTAL ENGLISH 1	5	A 4	1 5 7
		JUNIOR TOTAL ENGLISH 2	6	A 4	1 5 3
15	三省堂	CROWN Jr. 5	5	A B	1 2 8
		CROWN Jr. 6	6	A B	1 2 8
17	教出	ONE WORLD Smiles 5	5	A B	1 1 8
		ONE WORLD Smiles 6	6	A B	1 1 2
38	光村	Here We Go! 5	5	A B	1 4 0
		Here We Go! 6	6	A B	1 4 4
61	啓林館	小学校英語 Blue Sky elementary 5	5	A B	1 3 6
		小学校英語 Blue Sky elementary 6	6	A B	1 3 6

項目	観 点 の 具 体	2 東書 NEW HORIZON Elementary
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 言語活動に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎的・基本的な言語材料を確実に定着させるために、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせるために、言語活動の内容や情報活用能力を育む活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 英語の実践的運用能力を身に付けさせるために、他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 「Starting Out」では単元で扱う表現に出会う活動が設定されている。重要表現を身に付けることができるように「Your Turn」で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの順に、活動が繰り返して設定されている。</p> <p>② 「Enjoy Communication」では、第5学年のふるさとメニューの注文、第6学年の旅行代理店での旅先案内等、具体的な場面設定のもと、個人やペア、グループで簡単な発表やロールプレイをする活動が設定されている。</p> <p>③ 地域や日本の良さに着目した活動や、理科の食物連鎖、家庭科の栄養素等、他教科で扱う題材が複数取り入れられている。「Over the Horizon」では、社会・国語・総合・道徳等を合科的に取り扱う内容が組み込まれている。</p> <p>④ 第5学年のテーマは「日本に暮らすわたしたち」、第6学年のテーマは「世界に生きるわたしたち」とあり、世界とつながる仕事や世界の夏休み、日本の四季や文化等、世界や日本に関する話題が取り上げられている。</p> <p>⑤ 語彙や表現を確認できるよう、別冊「Picture Dictionary」が設けられている。「STORY TIME」では、英語の絵本や歌等が紹介されている。「Small Talk」では、各課の目標に関連したテーマが示されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容の構成・配列、全体の分量配分や表記、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 本課数は8であり、各課は、「Starting Out」「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」の4セクションで構成されている。2～3課ごとに、学習の確認として「Check Your Steps」が配列されている。</p>

項目	観 点 の 具 体	9 開隆堂 Junior Sunshine
(1) 内容の特徴・表現	① 言語活動に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎的・基本的な言語材料を確実に定着させるために、 教材 や言語活動がどのように取り上げられているか。 ② 知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせるために、 言語活動 の内容や情報活用能力を育む活動の内容がどのように取り上げられているか。 ③ 英語の実践的運用能力を身に付けさせるために、他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。 ④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、 尊重する態度 を育てるとともに、他国を尊重し、 国際社会 の平和と発展に寄与する 態度 を養うために、 教材 や 言語活動 がどのように取り上げられているか。 ⑤ 児童の 学習意欲 を喚起し、 補充的な学習 や 発展的な学習 、家庭での 自主的な学習 が促されるように、 教材 や 言語活動 がどのように取り上げられているか。	① 各課の始めでは、音声を聞いたり、チャンツをしたりする活動が設定されている。重要表現が定着するように、短い時間で行うことができる活動が繰り返し配列されている。 ② 「Project」では、各課の終末に行った「Let's Try」を活用し、第5学年ではイングリッシュパーティー、第6学年では20年後の同窓会を行う等、複数の技能を総合的に扱い、説明や聞き取り等の活動が設定されている。 ③ 他教科との関連がある内容では、その 教科名 が明記されている。より探求的に学ぶことができるように、「チャレンジ」では、自分の町やスポーツ選手を調べて発表する等の活動が設定されている。 ④ 日本や世界のことをより深く知ることができるように、十二支、お正月、年賀状等の日本文化や、世界の国々の小学校の授業や、世界の四季の様子等が取り上げられている。 ⑤ 文字を体系的に学習することができるように、「文字に慣れよう」では、 英語 を読むことや書くことの活動がまとめて掲載されている。見通しを持って学習することができるように、「Can-Do マップ」が掲載されている。
(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等	① 内容の構成・配列、全体の 分量 配分や表記、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	① 本課数は9で4～5課ごとに学習を復習・活用する活動「Project」が設けられている。各課は「Let's Listen」「Let's play」「Let's Sing」「Let's Try」等様々な活動が 組み合わせ させて 構成 されている。

11 学図 JUNIOR TOTAL ENGLISH	15 三省堂 CROWN Jr.
<p>① 各課の始めでは「レッスンの歌」や「レッスンシーン」等の活動が設定されている。聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの活動を段階的に行うことができるよう、「Let' s Listen」「Let' s Chant」等が示されている。</p> <p>② 「Use & Check」では、聞くこと、話すこと、書くこと等複数の技能を扱う活動が設定されている。既習事項が定着できるように、「Shaggy' s Story」では、音声を聞きながら文章を読む活動が取り上げられている。</p> <p>③ 算数・社会・理科等、他教科との関連がある内容が取り上げられている。「Project Time」では、友人を紹介したり、地域の良さ等を調べて発表したりする学びを深める活動が設定されている。</p> <p>④ 「コラム」では、世界の文化や風習、その背景にある思い等が紹介されている。日本の伝統文化への関心を高めることができるよう、伝統文化やイタリアからの児童との交流会が取り上げられている。</p> <p>⑤ 既習事項を確認できるよう「Pre-lesson」が設けられている。「Word Corner」では、カテゴリーごとに語彙が掲載されている。アルファベットの読み書きの確実な定着が図られるよう「Alphabet Corner」が設けられている。</p>	<p>① 学習の見通しを持つことができるよう「HOP」が設けられている。「STEP」では、「Panorama」を見ながら英語を聞くことから始まり、話すこと、読むことを取り上げた後に、書く活動が設定されている。</p> <p>② 「JUMP」では、既習事項を活用して個人やグループで発表する「Presentation」が設定され、伝えようとする内容を整理した上で様々な形式で表現することができるよう、ポスターセッション等の活動が示されている。</p> <p>③ 「Try」では、買い物・時差・道案内等、実生活での活用を図る内容が取り上げられている。「友だちや先生とのやりとり」では、コミュニケーションの具体例がまとめて紹介されている。</p> <p>④ 第5学年では、海外旅行の計画や外来語等、第6学年では、日本の行事・世界の祭りや消滅危機言語等、日本や世界の伝統行事や文化に目を向けられるような題材が取り上げられている。</p> <p>⑤ 「Story」では、児童がなじみのある話が取り上げられている。「実世界の英語」では、英語で書かれた実際のポスターや誕生日のメッセージカード、本の書名、メニュー表等が取り上げられている。</p>
<p>① 本課数は10で、2～3課ごとに「Word Corner」、5課ごとに「Project Time」が設けられている。各課は、「レッスンの歌」「レッスンシーン」「Let' s Listen」「Let' s Chant」「Use & Check」で構成されている。</p>	<p>① 本課数は7で、「HOP, STEP, JUMP」を大単元とし、その中に「Get Ready」、本課2～3、「Presentation」が配列されている。語句や表現の練習ができるよう、下段に「Sound Chant」、「Word Chant」等が設けられている。</p>

項目	観 点 の 具 体	17 教出 ONE WORLD Smiles
<p>(1) 内容の特徴・表現</p>	<p>① 言語活動に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎的・基本的な言語材料を確実に定着させるために、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせるために、言語活動の内容や情報活用能力を育む活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 英語の実践的運用能力を身に付けさせるために、他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 各課の始めでは、動画を見たり、歌を歌ったりする活動が設定されている。聞くこと、話すこと、読むことの活動を順に取り上げた後に、さらに話したり、聞いたりする活動が取り入れられている。</p> <p>② 様々な表現方法に接することができるように、「Final Activity」では、時間割表、地図、自分で作成したもの等を示しながらのやりとりや発表、クイズやロールプレイを行う活動が設定されている。</p> <p>③ 児童に身近なアニメ等の文化、国語で学習した物語等の題材が幅広く扱われている。行きたい場所や食べたい名物等を調査・発表する活動を展開することができるよう「名所・名物マップ」が設定されている。</p> <p>④ 「Let' s Look at the World」では、第5学年で海外の学校の様子や手話が、第6学年で絶滅危惧種をテーマにした内容が紹介されている。世界で活躍する好きなスポーツ選手の紹介をする活動が設定されている。</p> <p>⑤ 歌のもつメッセージを鑑賞する活動として「Let' s Enjoy the Music」が設けられている。第6学年の「知らない言葉を調べてみよう」では、辞書の使い方を学ぶ発展的な活動が設定されている。</p>
<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容の構成・配列、全体の分量配分や表記、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 本課数は9で、各課は、「Let' s Watch」「Let' s Say It Together」「Let' s Listen」「Activity」等の後に、「Sounds and Letters」「Review」が配列されている。巻末には、活動で使用するワークシートが綴じ込まれている。</p>

38 光村 Here We Go!	61 啓林館 Blue Sky Elementary
<p>① 児童が学習の見通しをもつことができるように、各課の目標が明示されている。既習事項を生かしてまとめができるように、聞くこと、話すこと、書くことの活動が繰り返し設定されている。</p> <p>② 実際の場面での言語使用を意識しながら活動に取り組むことができるように、第5学年の「Let's try./You can do it.」では、与えられた金額内での注文や好きな施設を入れた上での道案内等の場面が設定されている。</p> <p>③ 教科等横断的な学習ができるよう、「学びをつなげよう」でMap作り・食物連鎖、「やってみよう」で手話等が取り上げられている。よりよい言葉の使い方を考えられるよう「言葉について考えよう」が設けられている。</p> <p>④ 自文化や他文化を尊重する態度を養うことができるように、世界で活躍する日本人を題材として取り上げたり、「世界の友達」では、世界12か国の子どもたちの生活の様子を継続的に取り上げたりしている。</p> <p>⑤ 英語の物語等により、発展的な読む活動を行うことができるよう「Fun Time」が設けられている。児童が主体的に学習を進めることができるように、巻頭には「できるようになること」、巻末には「絵辞典」が掲載されている。</p>	<p>① 絵を見て音声を聞き英語を推測する「Listen and Guess」、聞くこと、話すこと等の活動を繰り返す「Listen and Play」「Listen and Do」、重要表現の定着を図る「Activity」が設定されている。</p> <p>② 児童のより深い思考を促すために、「REVIEW」では、条件を踏まえて行きたい場所と理由を述べる等、実生活に即した具体的な場面や状況が与えられた言語活動が設定されている。</p> <p>③ 「CHALLENGE」では、第5学年では、動物園の掲示・店のポスター等実生活での活用を図る内容、また、第6学年では、棒グラフや円グラフ等算数との関連を図る学習内容が取り上げられている。</p> <p>④ 都道府県の特徴や外国の祭り・習慣を扱っている。異文化理解や自国の文化、他者への配慮等を学ぶことができるように、「Did you know?」では、世界の多様な文化が題材として取り上げられている。</p> <p>⑤ 「Story」では、「The Very Big Turnip (大きなかぶ)」等、児童になじみのある物語が取り上げられている。文字と音との関係を継続的に学習することができるように、「Let's Read and Write」が配列されている。</p>
<p>① 本課数は9で、各課はそれぞれ「Hop, Step1, Step2,, Jump」で構成されており、それぞれ見開き2ページで共通した構成になっている。2～4課ごとに「Review」が設けられている。</p>	<p>① 本課数は8で、2～3課ごとに「Review」が設けられており、各課は3部で構成されている。各課の冒頭には、「Listen and Guess」、終末には、「Looking Back」「Did you know?」等が配列されている。</p>

1 3

教科 道徳

種目 道徳

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新訂あたらしいどうとく 1	1	AB	125
		新訂新しいどうとく 2	2	AB	143
		新訂新しいどうとく 3	3	AB	165
		新訂新しいどうとく 4	4	AB	169
		新訂新しい道徳 5	5	AB	181
		新訂新しい道徳 6	6	AB	197
11	学図	かがやけみらい しょうがっこうどうとく1ねん きづき	1	AB	116
		かがやけみらい しょうがっこうどうとく1ねん まなび		AB	48
		かがやけみらい 小学校どうとく2年 きづき	2	AB	112
		かがやけみらい 小学校どうとく2年 まなび		AB	48
		かがやけみらい 小学校どうとく3年 きづき	3	AB	132
		かがやけみらい 小学校どうとく3年 まなび		AB	48
		かがやけみらい 小学校道徳4年 きづき	4	AB	136
		かがやけみらい 小学校道徳4年 まなび		AB	48
		かがやけみらい 小学校道徳5年 きづき	5	AB	148
		かがやけみらい 小学校道徳5年 まなび		AB	52
		かがやけみらい 小学校道徳6年 きづき	6	AB	148
		かがやけみらい 小学校道徳6年 まなび		AB	52
17	教出	しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ	1	AB	130
		小学どうとく2 はばたこう明日へ	2	AB	138
		小学どうとく3 はばたこう明日へ	3	AB	148
		小学道徳4 はばたこう明日へ	4	AB	160
		小学道徳5 はばたこう明日へ	5	AB	164
		小学道徳6 はばたこう明日へ	6	AB	168
38	光村	どうとく1 きみがいちばんひかるとき	1	B5	144
		どうとく2 きみがいちばんひかるとき	2	B5	168
		どうとく3 きみがいちばんひかるとき	3	B5	184
		道徳4 きみがいちばんひかるとき	4	B5	192
		道徳5 きみがいちばんひかるとき	5	B5	204
		道徳6 きみがいちばんひかるとき	6	B5	220

116	日文	しょうがくどうとく いきるちから 1	1	AB	148
		しょうがくどうとく いきるちから 1 どうとくノート		AB	40
		小学どうとく 生きる力 2	2	AB	164
		小学どうとく 生きる力 2 どうとくノート		AB	40
		小学どうとく 生きる力 3	3	AB	176
		小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート		AB	40
		小学道徳 生きる力 4	4	AB	184
		小学道徳 生きる力 4 道徳ノート		AB	40
		小学道徳 生きる力 5	5	AB	184
		小学道徳 生きる力 5 道徳ノート		AB	40
		小学道徳 生きる力 6	6	AB	184
小学道徳 生きる力 6 道徳ノート	AB	40			
208	光文	しょうがくどうとく ゆたかなこころ 1ねん	1	A4変形	152
		小学どうとく ゆたかなこころ 2年	2	A4変形	160
		小学どうとく ゆたかな心 3年	3	A4変形	176
		小学どうとく ゆたかな心 4年	4	A4変形	180
		小学道徳 ゆたかな心 5年	5	A4変形	184
		小学道徳 ゆたかな心 6年	6	A4変形	188
224	学研	新・みんなのどうとく1	1	A4	136
		新・みんなのどうとく2	2	A4	140
		新・みんなのどうとく3	3	A4	152
		新・みんなの道徳4	4	A4	156
		新・みんなの道徳5	5	A4	164
		新・みんなの道徳6	6	A4	168
232	廣あ かつ き	みんなでかんがえ、はなしあう しょうがくせいのでうとく1	1	AB	112
		じぶんをみつめ、かんがえる どうとくノート1		AB	36
		みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく2	2	AB	112
		自分を見つめ、考える どうとくノート2		AB	44
		みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく3	3	AB	120
		自分を見つめ、考える どうとくノート3		AB	44
		みんなで考え、話し合う 小学生の道徳4	4	AB	132
		自分を見つめ、考える 道徳ノート4		AB	44
		みんなで考え、話し合う 小学生の道徳5	5	AB	156
		自分を見つめ、考える 道徳ノート5		AB	48
みんなで考え、話し合う 小学生の道徳6	6	AB	164		
自分を見つめ、考える 道徳ノート6		AB	48		

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新訂新しい道徳
<p>内容の特徴・表現</p>	<p>① 道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫が、どのようになされているか。</p> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考えることができる題材や情報モラル等現代的な課題に関わる題材が、どのように取り上げられているか。</p> <p>③ 「読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習」「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法が、どのように取り上げられているか。</p> <p>④ 身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等に関わる題材や、グローバル化が進展する国際社会に関わる題材が、どのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の興味、関心、意欲を高め、児童が道徳の時間以外に活用したり、家庭で自主的に学習したりできるよう題材や学習活動が、どのように取り上げられているか。</p>	<p>① 同じ内容項目の教材は、2学年ごとに同一の主題で示されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、人物を通して考える教材が、第5・6学年でそれぞれ1題示されている。</p> <p>② 第1・2学年では、教材名の下に導入となる問いが示されている。第3学年以上では、教材末に、主題について考える問いや、自分を振り返るための問いが示されている。また、全学年で「情報モラル」「いじめのない世界へ」を題材にした教材が取り上げられている。</p> <p>③ 「問題を見つけて考える」の中で、扉絵の問いで問題に気づき、「考えるステップ」で対話を通して他者との考えを比べ、自分の考えを深めながら問題解決に向けた探究を促す活動が示されている。また、絵や新聞等をもとに考える活動が示されている。</p> <p>④ 第5学年では「正月料理」、第6学年では「白神山地」等、我が国の伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる題材が10題、コラムが3題示されている。国際理解、国際親善に関わる題材が8題示されている。</p> <p>⑤ 「出会う・ふれ合う」では、教材で学んだことを確かめたり感じたりするために、自分の生活における具体的な実践場面や活動例が示されている。情報モラルでは、家庭で保護者と考える「家の人といっしょに考えよう」が掲載されている。</p>
<p>構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 4つの内容項目をマークと色で分け、目次と教材のページに反映させている。巻頭に「なりたい自分」を、巻末に教材ごとに学習の記録と振り返りを記入するよう構成されている。付録「つながる・広がる」で、自然、伝統、文化が取り扱われている。</p>

11 学図 かがやけみらい 小学校道徳	17 教出 小学道徳 はばたこう明日へ
<p>① 「きづき」には4つの視点のマークと教材名が、「まなび」には内容項目と主題名が示されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、人物を通して考える教材が、第5・6学年でそれぞれ1題示されている。</p> <p>② 「かんがえよう」では、出来事や登場人物の心情を考えながら、友達の考えを取り入れ、自分の考えを深められるような活動が示されている。また、全学年で「情報モラル」「ともにいきる」を題材にした教材が取り上げられている。</p> <p>③ 「こころのパレット」では、主題における問題を見つけたり、道徳的価値について自分の考えをまとめたりする学習が示されている。「やってみよう」では、登場人物の役になって考えるように、役割演技を通した体験的な学習が取り上げられている。</p> <p>④ 第5学年では「土俵を造る」、第6学年では「米百俵」等、我が国の伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる題材が8題、国際理解、国際親善に関わる題材が8題示されている。</p> <p>⑤ 「みつめよう」では、教材から学んだことを自分の経験や実態と照らし合わせ、具体的な行動が考えられるような問いが示されている。「まなび」のコラムには、先人や伝統等に関する情報や教材に関連した図書の紹介が掲載されている。</p>	<p>① 関連した内容のまとまりで教材を配列し、主題名、教材名の初めに、問いや考えたいことが示されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、人物を通して考える教材が、第5・6学年でそれぞれ2題示されている。</p> <p>② 主題についての問いが動機づけとなるような導入や「考えよう」では、登場人物の心情から道徳的価値について多様な考えを知り、自らの考えが深まるような活動が示されている。また、全学年で情報モラル、共生、命を題材にした教材が取り上げられている。</p> <p>③ 「考えよう」では、自分ならと問うことで、自我関与を促すような学習が示されている。「やってみよう」では、役割演技の活動が、「スキル」では、今後の生活における具体的な道徳的行為を考える体験的な学習が、各学年で掲載されている。</p> <p>④ 第5学年では「姫路城」「渋沢栄一」、第6学年では「米百俵」「西陣織」等、我が国の伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる題材が19題、国際理解、国際親善に関わる題材が8題示されている。</p> <p>⑤ 「深めよう」では、自らの経験を振り返りながら、教材から学んだ道徳的価値を自分の言葉でまとめる活動が示されている。「つなげよう」では、日常の実践場面における具体的な行動を考えることができるような学習が設けられている。</p>
<p>① 「きづき」と「まなび」の2冊で構成され、「きづき」は指導順に配列されており、「まなび」は内容項目で配列されている。「まなび」では、「きづき」の教材を見開き2ページで扱うこととなっており、複数の教材を関連付けて構成されている。</p>	<p>① 全35教材(1年は34教材)で付録教材が設けられている。目次と各教材で内容項目別に共通したマークと色が示されている。目次では、各学年で「特に大切なこと」としている主題に関する教材名が色分けされている。第1・2学年の巻末で礼儀・姿勢・マナーが扱われている。</p>

項目	観 点 の 具 体	38 光村 道徳 きみがいちばんひかるとき
<p>内容の特徴・表現</p>	<p>① 道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫が、どのようになされているか。</p> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考えることができる題材や情報モラル等現代的な課題に関わる題材が、どのように取り上げられているか。</p> <p>③ 「読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習」「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法が、どのように取り上げられているか。</p> <p>④ 身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等に関わる題材や、グローバル化が進展する国際社会に関わる題材が、どのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の興味、関心、意欲を高め、児童が道徳の時間以外に活用したり、家庭で自主的に学習したりできるよう題材や学習活動が、どのように取り上げられているか。</p>	<p>① 教材のはじめに、<u>主題名</u>、考えたいことや問いが示されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、詩や作文を通して考える教材が、第5学年では1題、第6学年では2題示されている。</p> <p>② 「考えよう、話し合おう」では、まず問題意識をもたせる問いを示し、次にねらいとする道徳的価値についての問いが示されている。学年に応じて、「情報と向き合う」「いじめを許さない心」「世界とつながる」等の題材が掲載されている。</p> <p>③ 共通する主題の教材を連続して扱い、問題意識を継続しながら考えを深めていくような学習が設定されている。「心を通わそう」では、他者への言葉かけ等、具体的な道徳的行為を体験し、自分の考えを表現する活動が示されている。</p> <p>④ 第5学年では<u>伝統工芸や和菓子職人</u>、第6学年では地域の魅力を伝える姿を扱った題材等、我が国の伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる題材が7題、国際理解、国際親善に関わる題材が7題示されている。</p> <p>⑤ 題材末の「つなげよう」では、日常生活や他教科等の学習に生かす視点や、実際の活動を促す視点が示されている。関連する図書が紹介されている。言葉に注目したページや話し方のこつ等、言語活動に関するページが設けられている。</p>
<p>構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 全35教材(1年は34教材)で付録が設けられている。1年間を3つの学習のまとまりに分け、目次に色別で示されている。それぞれの最初には扉絵で学習のテーマが示され、3つの期ごとに「学びの記録」が設けられている。</p>

116 日文 小学道徳 生きる力	208 光文 小学道徳 ゆたかな心
<p>① 教材ごとに主題名、その下に考えたいことや問いが示されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、人物や実際のできごとをもとにした教材が、第5・6学年でそれぞれ2題示されている。</p> <p>② 教材前に問題意識をもたせるための主題についての問いがあり、教材末の「考えよう」では、中心人物と自分を重ねて考える問いが示されている。また、全学年で「情報モラル」「人との関わり」「安全なくらし」を題材にした教材が取り上げられている。</p> <p>③ 「学習の手引き」で、問題を見つけ、解決に向けての学習活動が4段階で示されている。また、疑似体験等で、道徳的価値の理解を深めるような活動が取り上げられている。「道徳ノート」には教科書の「考えよう」の問いの考えを書く欄と自由に使える欄が設けられている。</p> <p>④ 第5学年で「ゆめぴりか」の品種改良への取組、第6学年で「姫路城」等、我が国の伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる題材が12題、国際理解、国際親善に関わる題材が11題、付録3題が示されている。</p> <p>⑤ 「見つめよう、生かそう」では、学んだことをもとに自分の生活を振り返り、これからの自分を考えるような問いが示されている。いじめ、持続可能な社会等のテーマについては、教材後に「心のベンチ」が設定され、関連した学習や自分の行動を見直す活動が設けられている。</p>	<p>① 教材のはじめに、教材を通して考えたいことや問い、主題名が示されている。「よりよく生きる喜び」に関わる教材が、5学年では人物が1題、6学年では人物と詩が2題示されている。</p> <p>② 「問いをもつ」では、主題についての問いがあり、教材の下欄に考えるポイントが示され、教材末に、自分の経験をもとに深く考える「まとめる、広げよう」が設定されている。また、全学年で「情報社会」「いじめ」「命」を題材にした教材が取り上げられている。</p> <p>③ 「考える」では、あなたならと問うことで、自我関与を促すような学習が示されている。「みんなでやってみよう」では、具体的な道徳的行為を通して、相手の気持ちを考えたコミュニケーションを学ぶ体験的な活動が示されている。</p> <p>④ 第5学年では都道府県章やキャラクター、第6学年では「茶道」や「熊本城復興」等、我が国の伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる題材が16題、国際理解、国際親善に関わる題材が7題示されている。</p> <p>⑤ 「広げる」には、学習内容を生活に生かすことや教材に関連した情報を調べる活動を促すような問いが示されている。全学年で、日常生活における望ましいコミュニケーションや集団の在り方等について考えるような活動が設定されている。</p>
<p>① 教科書と別冊「道徳ノート」で構成されている。全35教材と（1年は34教材）と付録教材が設けられている。「道徳ノート」は、教科書の教材ごとに1ページで構成されており、1時間の学習を振り返り、3つの項目で自己評価する箇所が設けられている。</p>	<p>① 目次は教材の指導順を示す番号の色を内容項目別で分けられており、同テーマの教材は共通マークで示されている。教材は35教材（1年は34教材）で、付録が5教材（1年は6教材）設けられている。「とくに考えたいこと」は、複数教材を関連付けた学習で示されている。</p>

項目	観 点 の 具 体	224 学研 新・みんなの道徳
<p>内容の特徴・表現</p>	<p>① 道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫が、どのようになされているか。</p> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考えることができる題材や情報モラル等現代的な課題に関わる題材が、どのように取り上げられているか。</p> <p>③ 「読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習」「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法が、どのように取り上げられているか。</p> <p>④ 身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等に関わる題材や、グローバル化が進展する国際社会に関わる題材が、どのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 児童の興味、関心、意欲を高め、児童が道徳の時間以外に活用したり、家庭で自主的に学習したりできるよう題材や学習活動が、どのように取り上げられているか。</p>	<p>① 教材のはじめに4つの視点とマークが示されている。「よりよく生きる喜び」に関わってそれぞれ2題、第5学年では人物と詩、第6学年では人物と物語を通して考える教材が示されている。</p> <p>② 「考えよう」では、登場人物の心情と自分の経験を重ねて考える問いの2つが示されている。教材により「深めよう」があり、これまでの自分の見方を見つめ、記入する欄が設けられている。また、全学年で「情報モラル」「いのち」を題材にした教材が取り上げられている。</p> <p>③ 教材末の「深めよう」では、「つかもう・探そう・ふみだそう」の3段階で、問題解決に向けて考えが深まるような学習活動が示されている。また、「やってみよう」では、登場人物の役になる役割演技を通して自分の考えを持つ視点が示されている。</p> <p>④ 第5学年では長岡市の「復興魂」、第6学年では和食のよさ等、我が国の伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる題材が10題、国際理解、国際親善に関わる題材が10題示されている。</p> <p>⑤ 約半数の教材に「深めよう」「やってみよう」「広げよう」「つなげよう」のコーナーが設けられ、学習内容に関連した学習(他教科との関連、他者とのつながり、社会とのつながり、先人の生き方、自らの実践意欲の向上等)が取り扱われている。</p>
<p>構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>	<p>① 内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>① 目次は、教材の指導順を示す番号の色を内容項目別で分けられている。教材は35教材(1年は34教材)設けられている。同じテーマで(命、生き方)で、複数の教材を関連付け、一つのまとまりとして学習し、考えをまとめる欄が設けられている。</p>

232 廣あかつき みんなで考え、話し合う 小学生の道徳

- ① 同じ内容項目の教材が、2学年ごとに同一の主題で設定され、教材名の横に副題も示されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、物語を通して考える教材が第5・6学年でそれぞれ1題示されている。
 - ② 教材後の「学習の道すじ」では、教材から登場人物の心情や出来事を考えることを通して、道徳的価値について理解していくねらいが示されている。また、「人権、いじめ防止」「生命の尊さ」等を題材にした教材が取り上げられている。
 - ③ 「考えよう 話し合おう」では、話し合いのきっかけとなる問いや自分との関わりで考える問いが示されている。「道徳ノート」は、内容項目ごとに作成されている。継続的に考えを深めていくことができるよう、書く活動で自分に問いかける取り上げ方がなされている。
 - ④ 第5学年では札幌時計台、第6学年では「気仙町けんか七夕」等、我が国の伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる題材が10題、国際理解、国際親善に関わる題材が6題示されている。
 - ⑤ 「考えよう、話し合おう」で、自らの生活の振り返り、今後の行動について考えるような問いが示されている。「学習を広げる」では、先人や図書の情報が記載されている。「道徳ノート」では、体験活動を通して感じたことや考えたことを記録する欄が設けられている。
-
- ① 教科書と別冊「道徳ノート」で構成されている。教材が、35教材（1年は34教材）設けられている。各教材名の下に、4つの内容項目を示すマークと色、関連する道徳ノートのページが示されている。道徳ノートは、内容項目ごとに構成されている。

